

磐梯山ジオパークに関する住民意識と今後の課題

佐藤歩（福島大学大学院・共生システム理工学研究科）

・川崎興太（福島大学・共生システム理工学類）

・三部和哉（福島大学大学院・共生システム理工学研究科）

・星優太（福島大学大学院・共生システム理工学研究科）

・蓮岡真（磐梯山ジオパーク協議会事務局）

要 旨

本研究は、平成 23 年に日本ジオパークに認定された磐梯山ジオパークに関する住民意識を明らかにした上で、今後の課題を明らかにすることを目的とするものである。本研究では、磐梯山ジオパークが位置する北塩原村、猪苗代町、磐梯町のすべての行政区長とすべての小学校 6 年生の保護者を対象として、アンケート調査を実施した。アンケート調査により、磐梯山ジオパークは、町や村の広報紙などを通じて、多くの住民に認知されている一方で、ジオサイトの管理・利用・保全方針の明確化などが求められており、今後は、これまで以上に多様かつ広範な住民が参加しうる推進体制を構築した上で、将来像とその実現方策を共有化し、住民と協働で事業を推進していくことが課題であることを指摘した。

I. 研究の目的と方法

1. 研究の背景と目的

全国の地方自治体では、長引く不況による基幹産業の衰退、人口減少や過疎地域の増加など、多くの問題が生じている。こうした中で、近年では「ジオパーク」が地域資源を活用した活性化の手段として注目されつつある。ジオパークとは、ジオ（地球）に関わる様々な自然遺産、例えば、地層、岩石、地形、火山、断層などを含む自然豊かな公園である⁽¹⁾。

ジオパークには、「世界ジオパーク」と「日本ジオパーク」が存在する。世界ジオパークとは、ユネスコの支援のもとで世界のジオパーク活動を推進している世界ジオパークネットワーク（GGN）の審査を受け、世界ジオパークネットワークへの加盟が認定された地域であり、日本国内では、洞爺湖有珠山、糸魚川、山陰海岸、島原半島、室戸、隠岐、阿蘇の 7 地域が認定されている。他方、日本ジオパークとは、日本におけるジオパーク活動を推進している日本ジオパーク委員会（JGC）の審査を受け、日本ジオパークとし

て認定された地域であり、これまでに 30 地域が認定されている。

本研究は、平成 23 年に日本ジオパークに認定された磐梯山ジオパークに関する住民意識を明らかにした上で、今後の課題を明らかにすることを目的とするものである。折しも、日本ジオパークでは、ジオパークの活動の質的向上を図ることを目的として、4 年に 1 度、再審査が行われることになっているが、磐梯山ジオパークでは平成 27 年が再審査の年にあたることから、時宜にかなった研究だと考えられる。

2. 研究の方法

本研究では、磐梯山ジオパークが位置する北塩原村、猪苗代町、磐梯町のすべての行政区長とすべての小学校 6 年生の保護者を対象として、アンケート調査を実施した。

行政区長を対象者とした理由は、行政区長は一般の住民よりも行政に近い立場にあって、行政と住民をつなぐ地区の代表者であるので、その意識を把握することは重要だからである。また、小

学校 6 年生の保護者を対象者とした理由は、行政区長は熟年者が多いので、より若い年齢層の意識を把握するため、また、後述する磐梯山ジオパーク協議会が小学校の総合学習の一環として「ジオパーク出前講座」を実施しており、これも含めた親の意識についても確かめるためである。

アンケート調査票は、行政区長に対しては手渡しで、小学校 6 年生の保護者に対しては学校を通じて、平成 26 年 12 月 8 日に配布し、同日 26 日までに郵送にて回収した。調査票の配布数は行政区長については 160 件、小学校 6 年生の保護者については 192 件、回収数はそれぞれ 94 件、83 件であり、回収率はそれぞれ 59%、43%である (表 1)。

表 1 アンケートの配布・回収状況

	平成26年12月8日～26日				参考:平成26年12月1日現在の人口
	配布数 (行政区長)	回収数 (行政区長)	配布数 (小学校6年生の保護者)	回収数 (小学校6年生の保護者)	
合計	160 100%	94 59%	192 100%	83 43%	21721 100%
北塩原村	20 10%	15 9%	20 10%	15 8%	3038 14%
猪苗代町	110 69%	68 43%	141 73%	54 28%	14983 69%
磐梯町	30 19%	11 7%	31 16%	13 7%	3700 17%

注:平成26年12月1日現在の人口は、住民基本台帳に基づくものである。

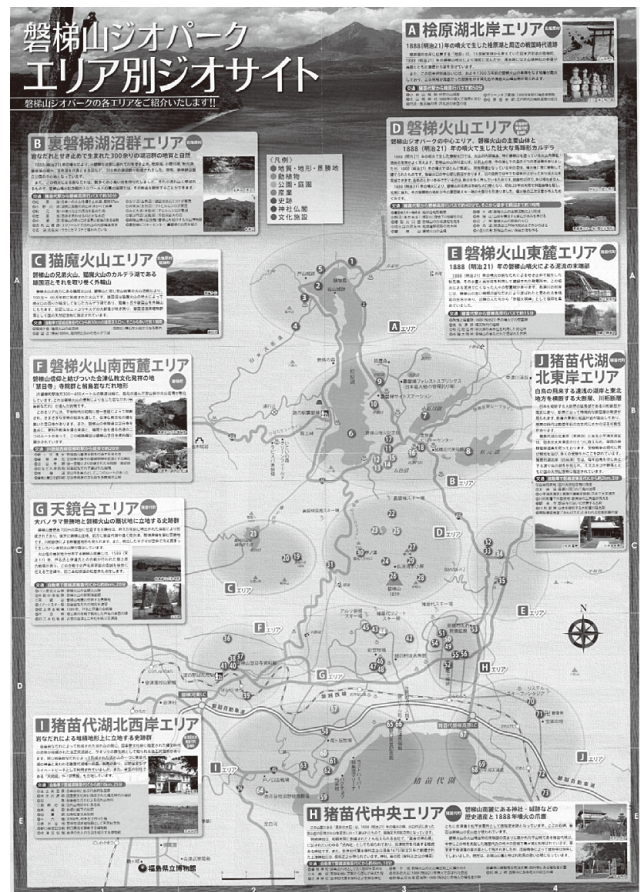
II. 磐梯山ジオパークの概要

磐梯山ジオパークは、福島県のほぼ中央部に位置する磐梯山を中心として、北塩原村、猪苗代町、磐梯町にまたがって存在する。磐梯山の南側には猪苗代湖、東側には川桁断層崖と安達太良連峰、北側には五色沼湖沼群や吾妻連峰、西側には雄国沼湿原をもつ猫魔火山のカルデラなどの自然遺産が存在するほか、旧石器時代からの遺跡や由緒ある神社仏閣などの多くの文化遺産が存在し、73ヵ所がジオサイトとして設定されている (図 1)。

磐梯山ジオパークは、平成 22 年に設立された「磐梯山ジオパーク協議会」によって運営されて

いる (表 2)。この協議会は、北塩原村、猪苗代町、磐梯町をはじめ、商工会や観光協会などの関係機関、各種団体の代表者、地域住民、研究者などから構成されており、調査研究部会、教育普及部会、広報啓発部会の 3 つの部会が設置されている。そして、これらの部会での検討を通じて、ジオツアー、ジオパーク教室、ジオパークフォーラム、講演会、展覧会など、さまざまな活動が展開されている。

先述の通り、磐梯山ジオパークは、平成 23 年に日本ジオパークに認定されており、現在では、世界ジオパークへの加盟が目指されている。



出典:磐梯山ジオパーク協議会

図 1 磐梯山ジオパークにおけるジオサイトの一覧

表 2 磐梯山ジオパーク協議会の概要

設立年月日	平成22年3月4日	
構成団体	猪苗代町 磐梯町 北塩原村 会津新林管理署 福島県 猪苗代町商工会 磐梯町商工会 北塩原村商工会 (社)猪苗代観光協会 磐梯町観光協会 裏磐梯観光協会 福島県立博物館 野口英世記念館 磐梯山噴火記念館 いなわしろ伝保人会 猪苗代山岳会 裏磐梯エコツーリズム協会	
運営部会	調査研究部会	各施設の学識経験者や行政団体から構成。ジオサイトの発掘・調査・地域の宝探し、ジオサイトの価値付け、パンフレットなど内容の監修を実施。
	教育普及部会	4つの民間団体から構成。ガイド養成事業、認定ガイド基準の策定、出前講座の開催を実施。
	広報啓発部会	3つの商工会と3つの観光協会および振興局ら7団体から構成。パンフレット、ガイドブック、ゆるキャラ、特産品等の作成を実施。

III. ジオパークに関する住民意識

1. 回答者の属性

(1) 回答者の居住地

【行政区長】

回答者の居住地については、北塩原村が16%、猪苗代町が72%、磐梯町が12%である(図2)。

【小学校6年生の保護者】

回答者の居住地については、北塩原村が19%、猪苗代町が65%、磐梯町が16%である(図3)。

(2) 回答者の性別

【行政区長】

回答者の性別については、3町村の全体では「男性」が95%、「女性」が4%であり、無回答が1%である(図4)。3町村ごとに見ても、大きな違いは見られない。

【小学校6年生の保護者】

回答者の性別については、3町村の全体では「男性」が20%、「女性」が77%であり、「無回答」が2%である(図5)。3町村ごとに見ても、大きな違いは見られない。

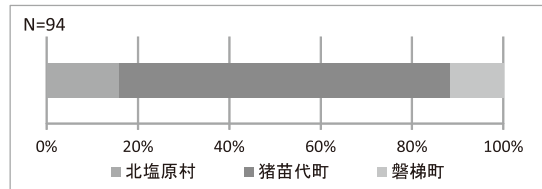


図 2 回答者の居住地 (行政区長)

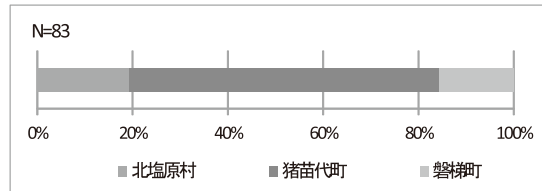


図 3 回答者の居住地 (小学校6年生の保護者)

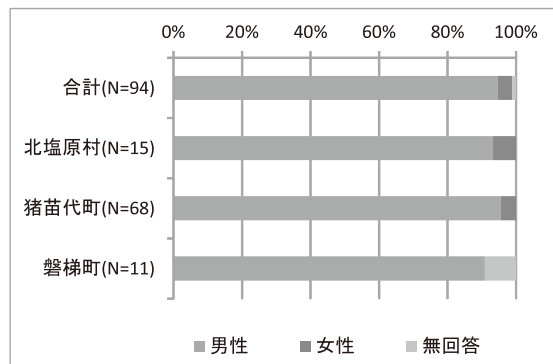


図 4 回答者の性別 (行政区長)

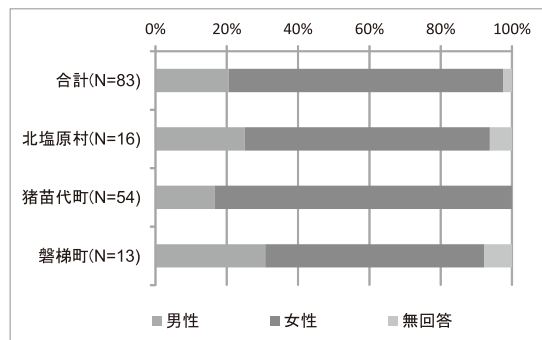


図 5 回答者の性別 (小学校6年生の保護者)

(3) 回答者の年齢

【行政区長】

回答者の年齢については、3町村の全体では「60歳代」の割合が56%で最も高く、次いで「50歳代」が21%、「40歳代」が12%で高い(図6)。3町村ごとに見ると、多少の違いはあるものの、い

ずれも「50 歳代」以上が大半を占めている点では変わらない。

【小学校 6 年生の保護者】

回答者の年齢については、3 町村の全体では「40 歳代」の割合が 54% で最も高く、次いで「30 歳代」が 35%、「50 歳代」が 8% で高い（図 7）。3 町村ごとに見ると、多少の違いはあるものの、いずれも「30 歳代」と「40 歳代」が大半を占めている点では変わらない。

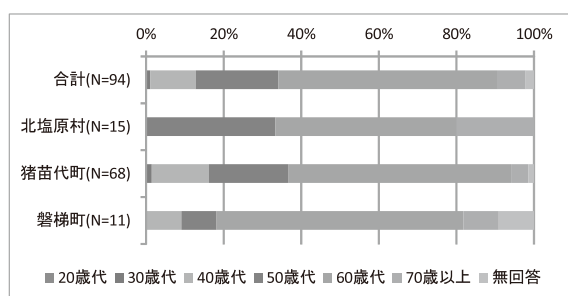


図 6 回答者の年齢（行政区長）

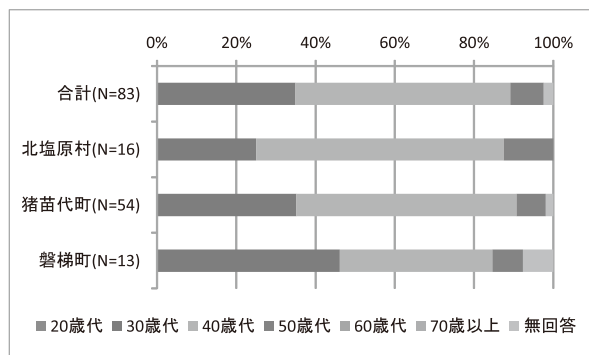


図 7 回答者の年齢（小学校 6 年生の保護者）

(4) 回答者の職業

【行政区長】

回答者の職業については、3 町村の全体では「会社員」の割合が 27% で最も高く、次いで「農業」が 22%、「無職」が 15% で高い（図 8）。3 町村ごとに見ると、北塩原村では「自営業」、猪苗代町では「会社員」、磐梯町では「農業」や「無職」の割合が高い。

【小学校 6 年生の保護者】

回答者の職業については、3 町村の全体では「会社員」の割合が 43% で最も高く、次いで「パート・アルバイト」が 20%、「専業主婦（主夫）」が 13% で高い（図 9）。3 町村ごとに見ると、北塩原村では「パート・アルバイト」、猪苗代町では「公務員」の割合が高い。

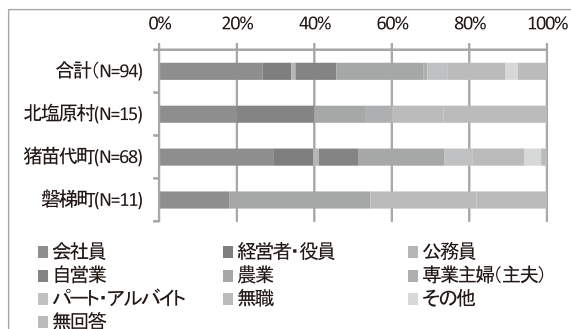


図 8 回答者の職業（行政区長）

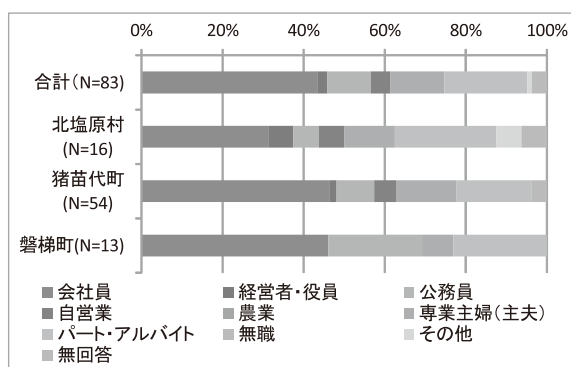


図 9 回答者の職業（小学校 6 年生の保護者）

(5) 回答者の子どもの小学校

【小学校 6 年生の保護者】

回答者の子どもが通う小学校については、北塩原村では、「さくら小学校」が 53%、「裏磐梯小学校」が 40%、「無回答」が 6% である（図 10）。猪苗代町では、「猪苗代小学校」が 29%、「千里小学校」「長瀬小学校」「吾妻小学校」が 14%、「緑小学校」が 12%、「翁島小学校」が 11% である（図 11）。磐梯町では、「磐梯第一小学校」が 53%、「磐梯第二小学校」が 47% である（図 12）。

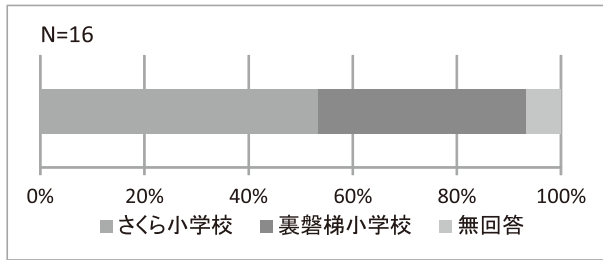


図 10 回答者の子どもの小学校（北塩原村・小学校 6 年生の保護者）

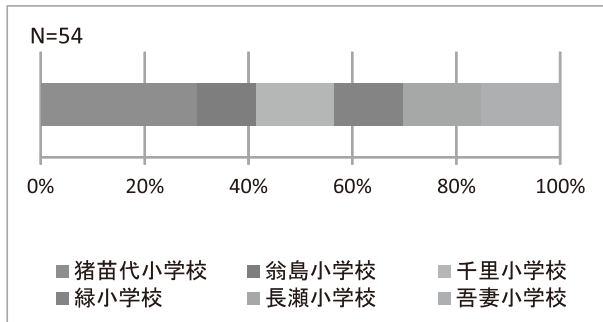


図 11 回答者の子どもの小学校（猪苗代町・小学校 6 年生の保護者）

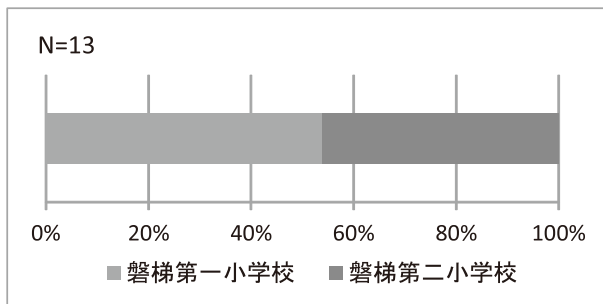


図 12 回答者の子どもの小学校（磐梯町・小学校 6 年生の保護者）

2. ジオパークの認知度

(1) 磐梯山がジオパークであることを知っているか

【行政区長】

磐梯山がジオパークであることを知っているかについて、3 町村の全体では「知っている」が 82%、「知らない」が 17%、無回答が 1%である（図 13）。3 町村ごとに見ると、北塩原村は「知っている」の割合が 93%で高い。

【小学校 6 年生の保護者】

磐梯山がジオパークであることを知っているかについて、3 町村の全体では「知っている」が 77%、「知らない」が 22%、無回答が 1%である（図 14）。3 町村ごとに見ると、北塩原村が「知っている」の割合が 93%と高い。

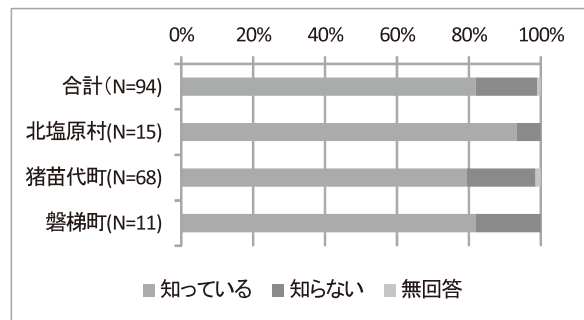


図 13 磐梯山がジオパークであることを知っているか（行政区長）

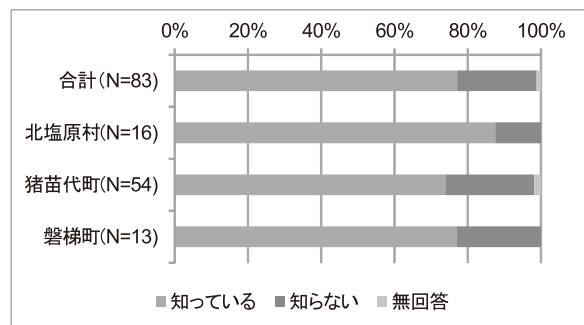


図 14 磐梯山がジオパークであることを知っているか（小学校 6 年生の保護者）

(2) 磐梯山ジオパークを構成している市町村は北塩原村、猪苗代町、磐梯町であることを知っているか

【行政区長】

磐梯山ジオパークを構成している市町村は北塩原村、猪苗代町、磐梯町の 3 町村であることを知っているかについて、3 町村の全体では、磐梯山がジオパークであることを「知っている」77 人のうち、「知っている」が 92%、「知らない」が 8%である（図 15）。3 町村ごとに見ると、北塩原村と磐梯町では、「知っている」が 100%で高い。

【小学校6年生の保護者】

磐梯山ジオパークを構成している市町村は北塩原村，猪苗代町，磐梯町の3町村であることを知っているかについて，3町村の全体では，磐梯山がジオパークであることを「知っている」64人のうち，「知っている」が75%，「知らない」が23%，「無回答」が2%である（図16）．3町村ごとに見ると，北塩原村では，「知っている」が92%で高い．

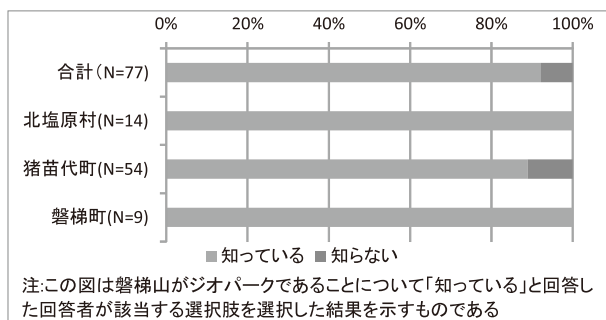


図15 磐梯山ジオパークを構成している市町村は北塩原村，猪苗代町，磐梯町であることを知っているか（行政区長）

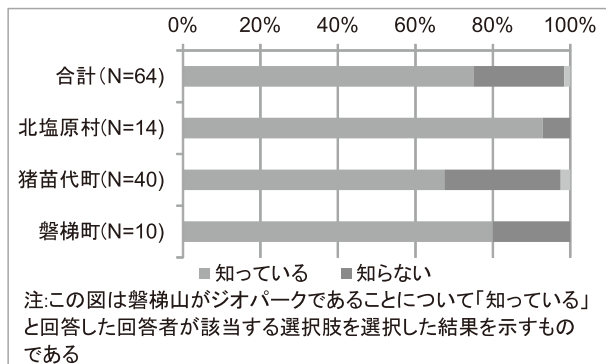


図16 磐梯山ジオパークを構成している市町村は北塩原村，猪苗代町，磐梯町であることを知っているか（小学校6年生の保護者）

(3) 磐梯山がジオパークであることをどのような経緯で知ったか

【行政区長】

磐梯山がジオパークであることをどのような経緯で知ったかについて（この設問は複数回答が

可能），3町村の全体では，磐梯山がジオパークであることを「知っている」77人のうち，「町や村の広報紙」の割合が68%，次いで「町や村のイベント」が31%，「ジオパークのパンフレット」が29%で高い（図17）．3町村ごとに見ると，それぞれに違いはあるが，「町や村の広報紙」の割合が最も高いことは変わらない（図18，図19，図20）．

【小学校6年生の保護者】

磐梯山がジオパークであることをどのような経緯で知ったかについて（この設問は複数回答が可能），3町村の全体では，磐梯山がジオパークであることを「知っている」64人のうち，「町や村の広報紙」が45%，次いで「町や村のイベント」が28%，次いで「ジオパークのパンフレット」が25%で高い（図21）．3町村ごとに見ると，北塩原村と猪苗代町では「町や村の広報紙」の割合が最も高いが（図22，図23），磐梯町では「町や村のイベント」の割合が最も高い（図24）．

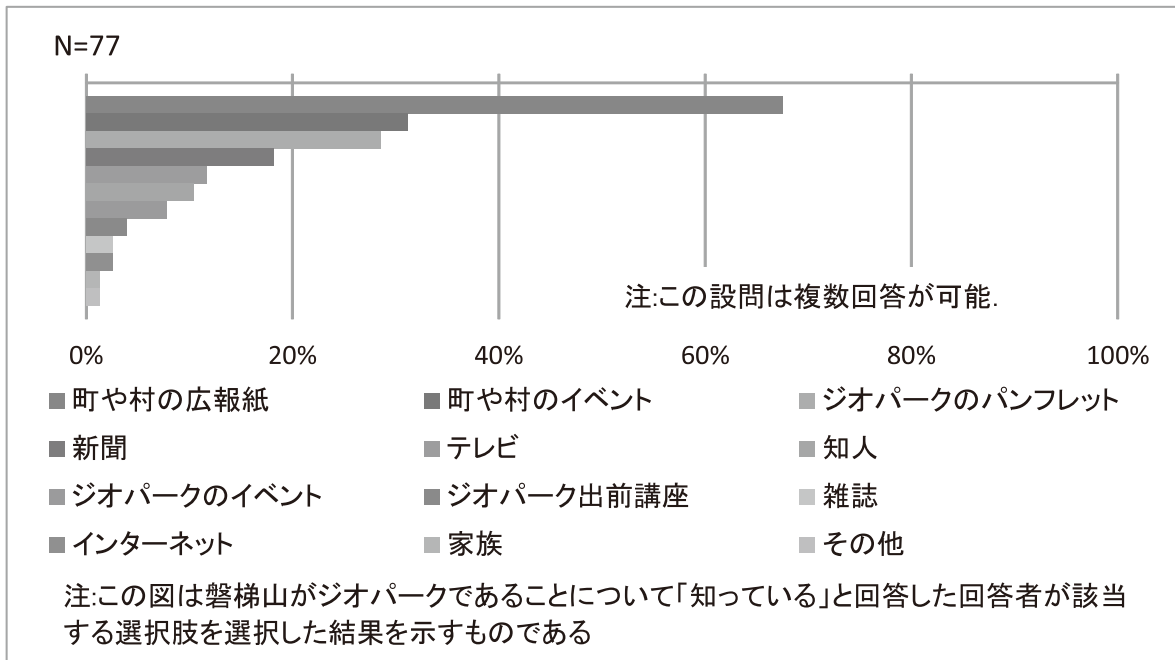


図 17 磐梯山がジオパークであることをどのような経緯で知ったか (3 町村の行政区長)

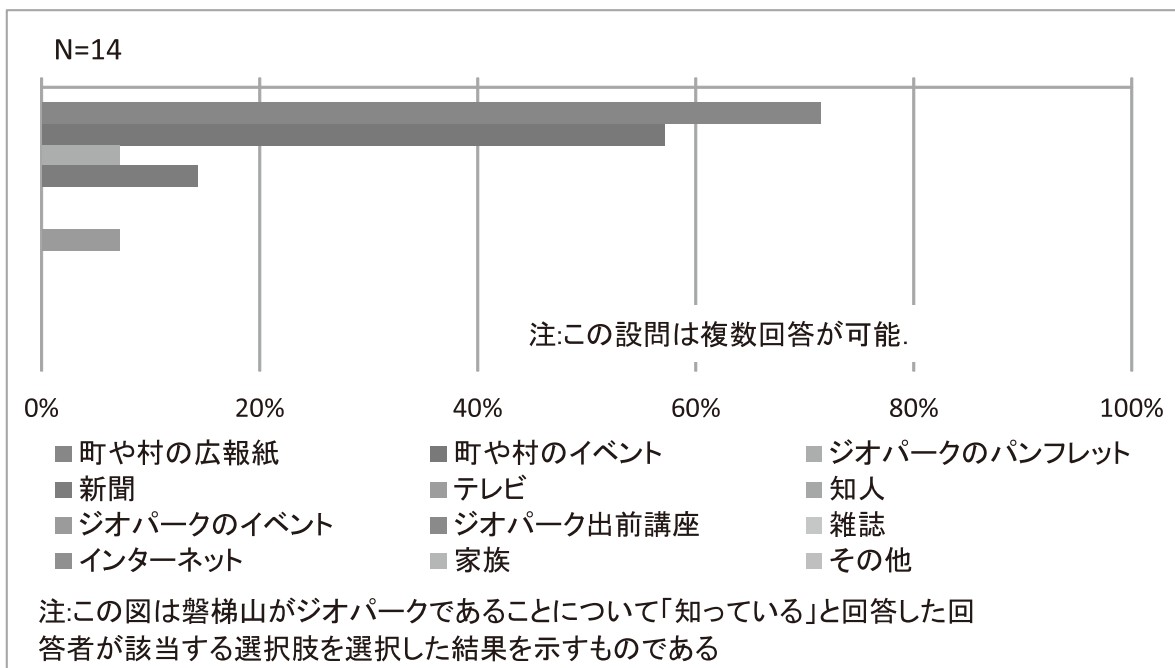


図 18 磐梯山がジオパークであることをどのような経緯で知ったか (北塩原村の行政区長)

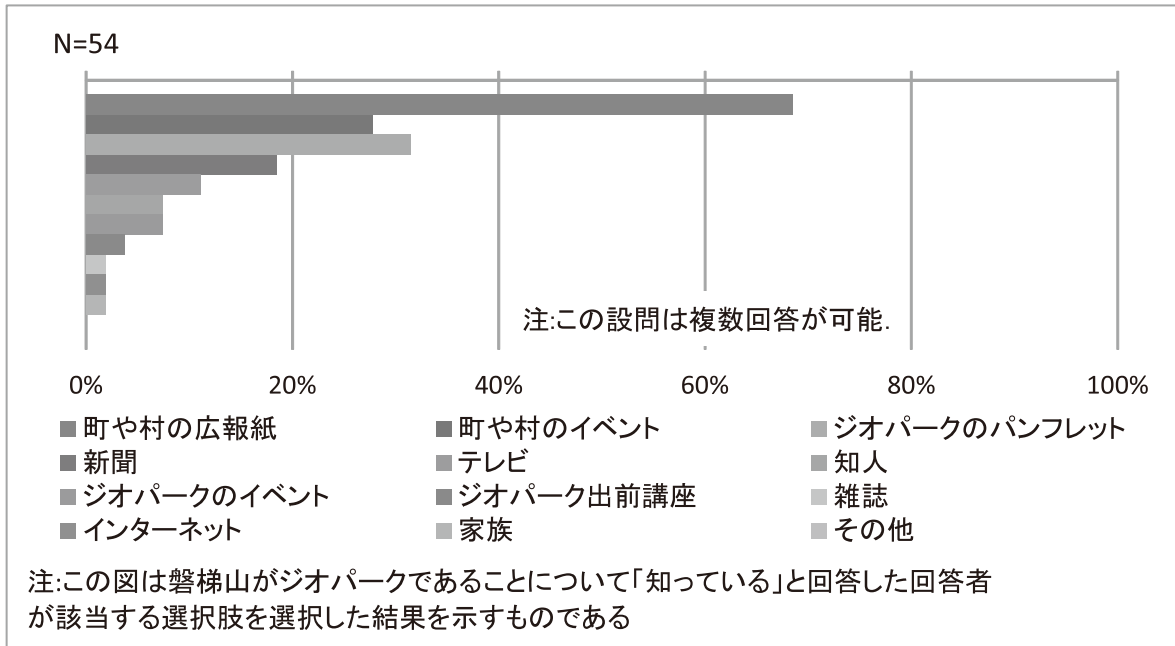


図 19 磐梯山がジオパークであることをどのような経緯で知ったか（猪苗代町の行政区長）

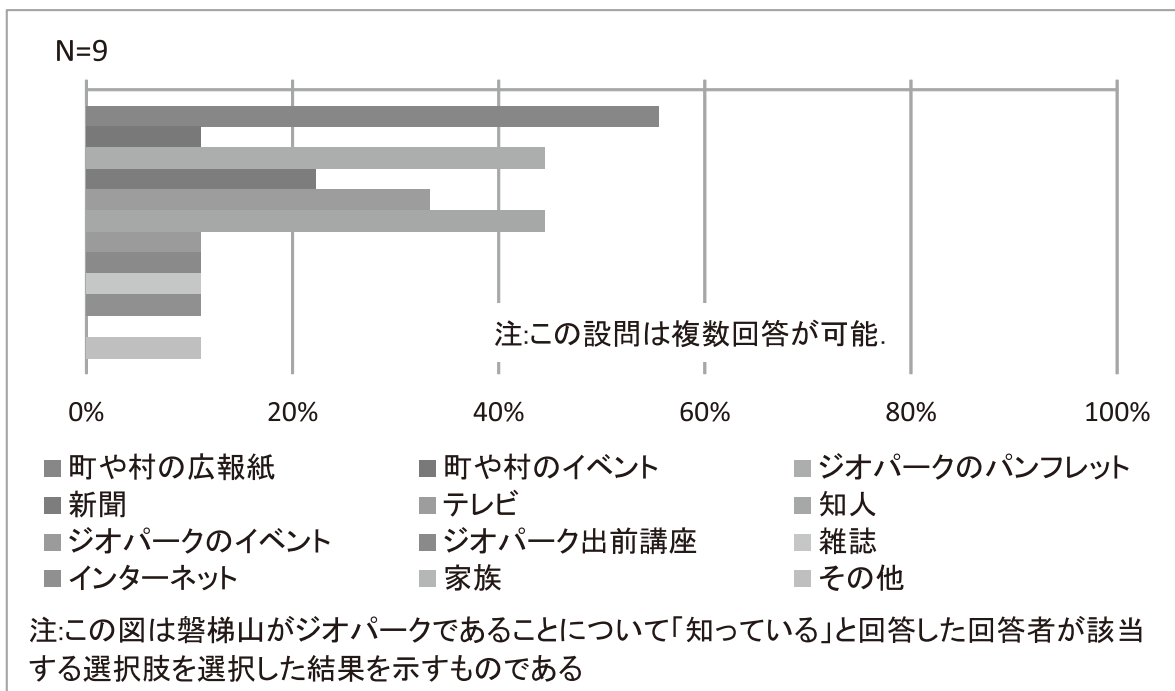


図 20 磐梯山がジオパークであることをどのような経緯で知ったか（磐梯町の行政区長）

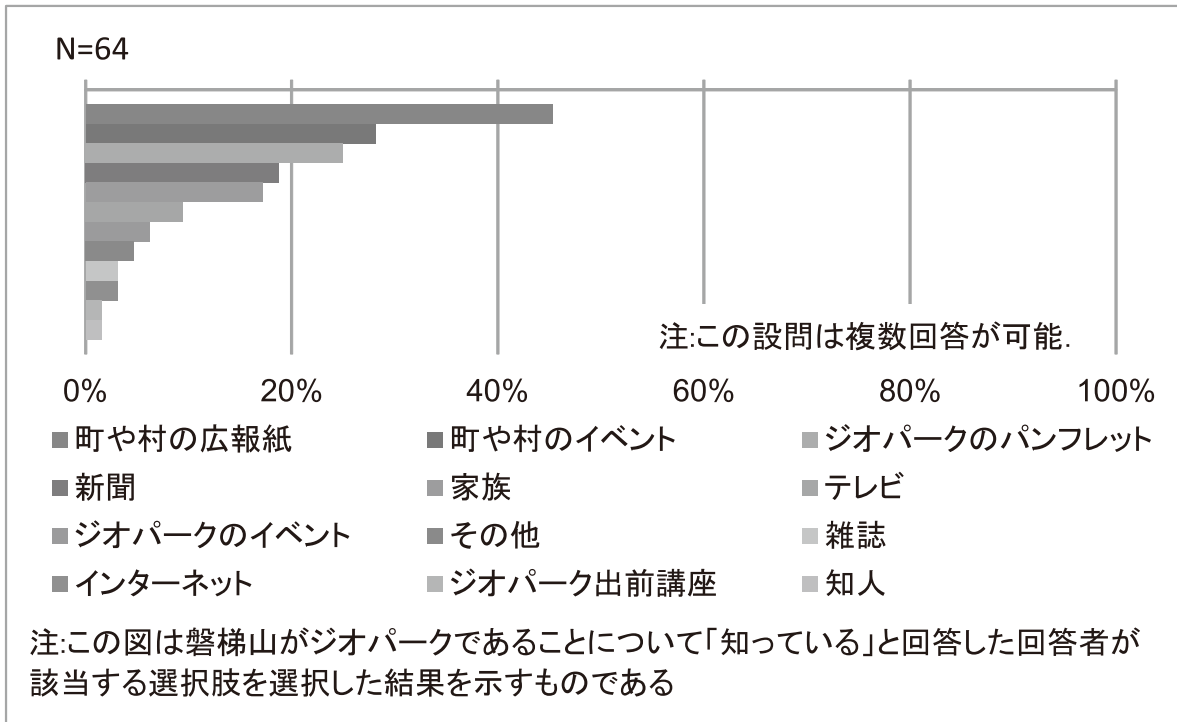


図 21 磐梯山がジオパークであることをどのような経緯で知ったか (3 町村の小学校 6 年生の保護者)

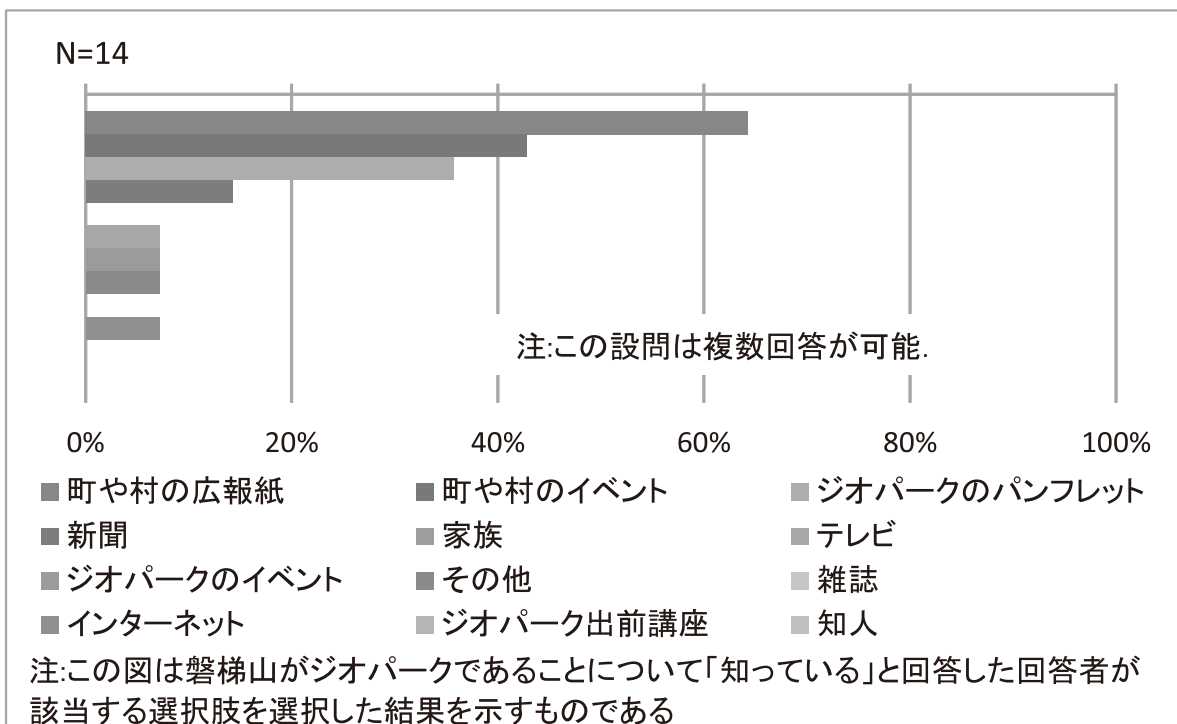


図 22 磐梯山がジオパークであることをどのような経緯で知ったか (北塩原村の小学校 6 年生の保護者)

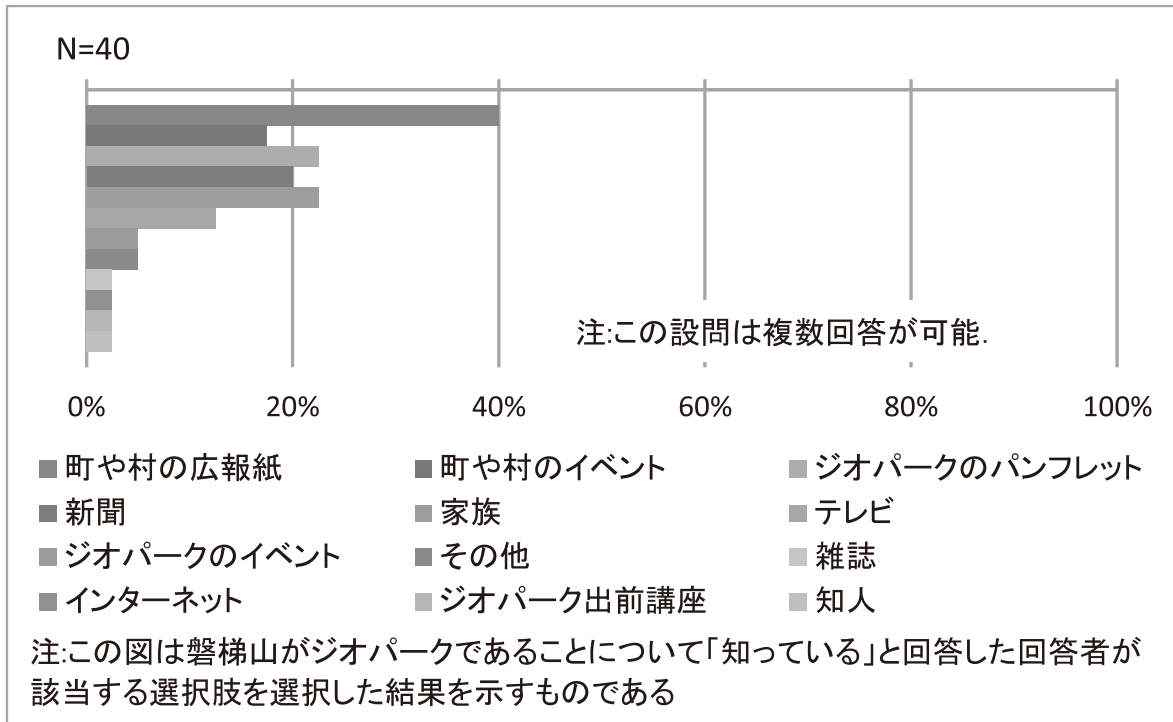


図 23 磐梯山がジオパークであることをどのような経緯で知ったか
(猪苗代町の小学校 6 年生の保護者)

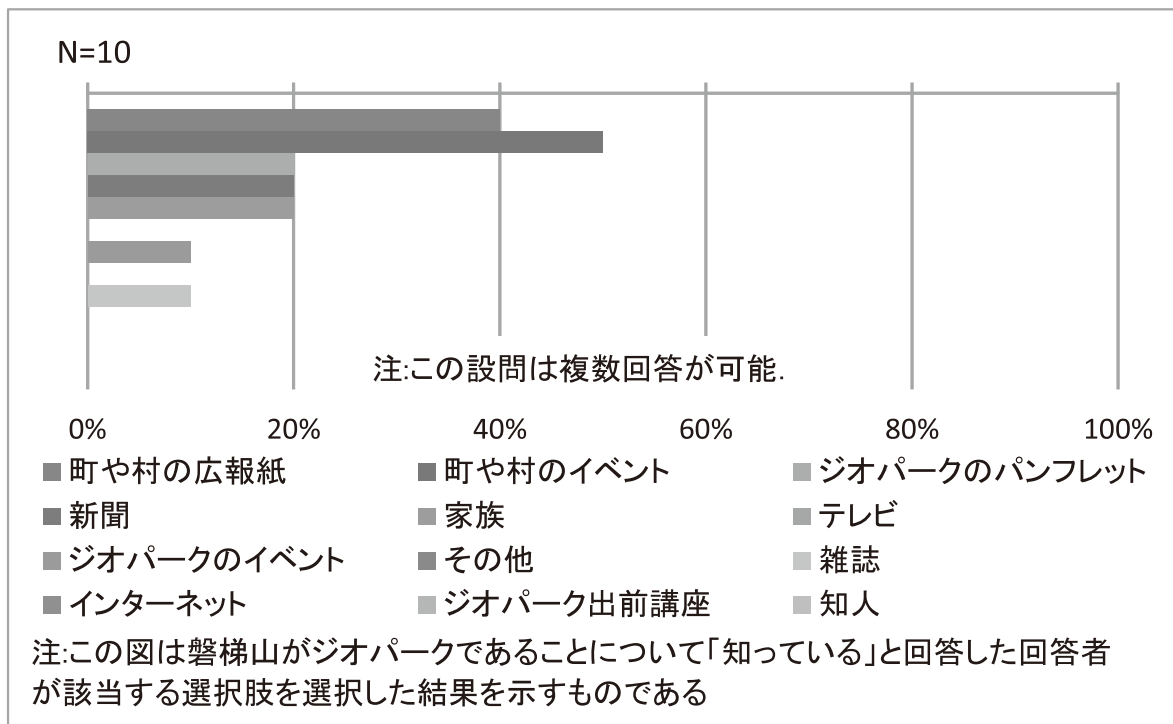


図 24 磐梯山がジオパークであることをどのような経緯で知ったか
(磐梯町の小学校 6 年生の保護者)

(4) 磐梯山ジオパークのパンフレットを知っているか

【行政区長】

磐梯山ジオパークのパンフレットを知っているかについて、3町村の全体では、磐梯山がジオパークであることを「知っている」77人のうち、「知っている」が82%、「知らない」が17%、無回答が1%である(図25)。3町村ごとに見ても、大きな違いは見られない。

【小学校6年生の保護者】

磐梯山ジオパークのパンフレットを知っているかについて、3町村の全体では、磐梯山がジオパークであることを「知っている」64人のうち、「知っている」が63%、「知らない」が33%、無回答が5%である(図26)。3町村ごとに見ても、大きな違いは見られない。

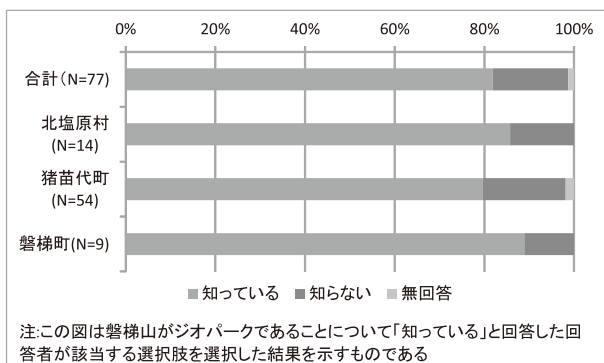


図25 磐梯山ジオパークのパンフレットを知っているか (行政区長)

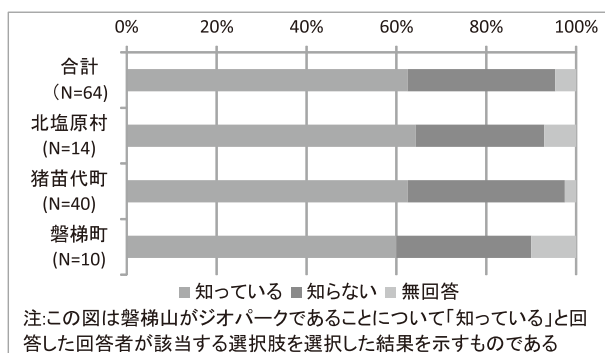


図26 磐梯山ジオパークのパンフレットを知っているか (小学校6年生の保護者)

(5) 磐梯山ジオパークのロゴマークを知っているか

【行政区長】

磐梯山ジオパークのロゴマークを知っているかについて、3町村の全体では、磐梯山がジオパークであることを「知っている」77人のうち、「知っている」が52%、「知らない」が43%、無回答が5%である(図27)。3町村ごとに見ると、北塩原村では少し割合が高い。

【小学校6年生の保護者】

磐梯山ジオパークのロゴマークを知っているかについて、3町村の全体では、磐梯山がジオパークであることを「知っている」64人のうち、「知っている」が55%、「知らない」が39%、無回答が6%である(図28)。3町村ごとに見ても、大きな違いは見られない。

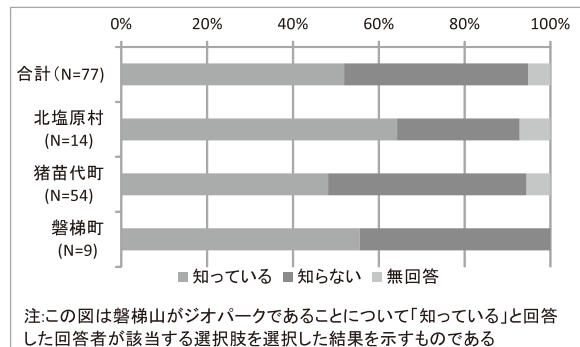


図27 磐梯山ジオパークのロゴマークを知っているか (行政区長)

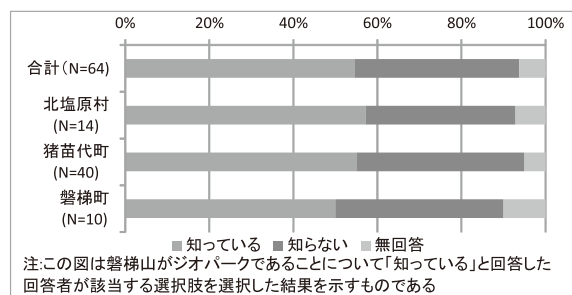


図28 磐梯山ジオパークのロゴマークを知っているか (小学校6年生の保護者)

(6) ジオパークの基本方針のうちどれに興味関心を持ったか

【行政区長】

ジオパーク活動には、大きく分けて、「調査研究・教育」「観光・地域振興」「ジオサイトの保護・保全」という3つの分野があるが、この3つの分野ごとに掲げている磐梯山ジオパークにおける基本方針のうち、どれに興味関心を持ったかについて（この設問は最大3つまで複数回答が可能）、3町村全体では「【ジオサイトの保護・保全】ジオサイトの管理、利用、保全方針を明確化させることにより、効果的な保全・保護を目指します」の割合が67%で最も高く、次いで「【観光・地域振興】磐梯山周辺の農業、漁業、商工業、観光業の融合を促進し、特色ある産業をつくりだす地域づくりの促進を図ります」が55%、「【観光・地域振興】ジオツーリズムの拡大を図り、磐梯山地域を訪れる観光客の満足度をあげ、リピーターを含めて来訪者の増加を目指します」が40%で高い（図29）。

3町村ごとに見ると、北塩原村と猪苗代町では「【ジオサイトの保護・保全】ジオサイトの管理、利用、保全方針を明確化させることにより、効果的な保全・保護を目指します」の割合が最も高いが（図30、図31）、磐梯町では「【観光・地域振興】ジオツーリズムの拡大を図り、磐梯山地域を訪れる観光客の満足度をあげ、リピーターを含めて来訪者の増加を目指します」の割合が最も高い（図32）。

【小学校6年生の保護者】

同様に、磐梯山ジオパークにおける基本方針のうち、どれに興味関心を持ったかについて（この設問は最大3つまで複数回答が可能）、3町村全体では「【調査研究・教育】児童・生徒や教職員向け、住民向けなどそれぞれに応じた幅広い学習・講座の実施を展開します」の割合が60%で

最も高く、次いで「【観光・地域振興】ジオツーリズムの拡大を図り、磐梯山地域を訪れる観光客の満足度をあげ、リピーターを含めて来訪者の増加を目指します」が48%、「【ジオサイトの保護・保全】ジオサイトの管理、利用、保全方針を明確化させることにより、効果的な保全・保護を目指します」が45%で高い（図33）。

3町村ごとに見ると、多少の違いはあるものの、いずれも「【調査研究・教育】児童・生徒や教職員向け、住民向けなどそれぞれに応じた幅広い学習・講座の実施を展開します」の割合が最も高い点では変わらない（図34、図35、図36）。

磐梯山ジオパークに関する住民意識と今後の課題

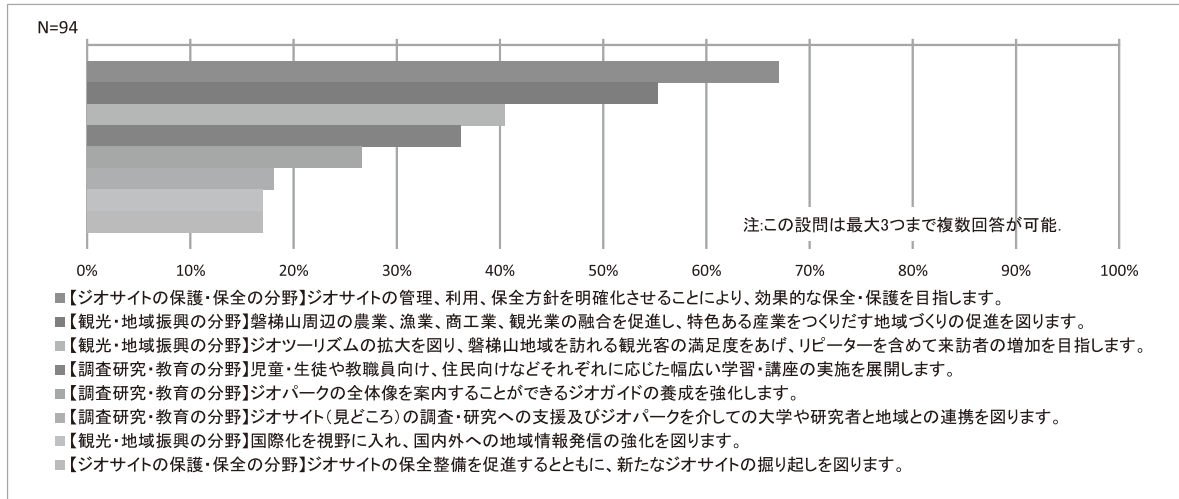


図 29 ジオパークの3つの基本方針のうちどれに興味関心を持ったか
(3 町村の行政区長)

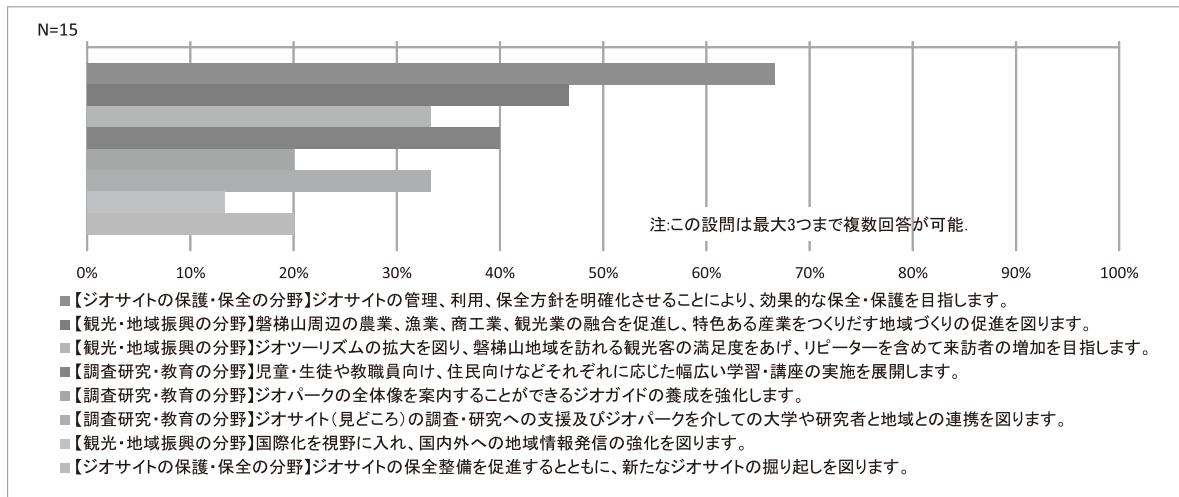


図 30 ジオパークの3つの基本方針のうちどれに興味関心を持ったか
(北塩原村の行政区長)

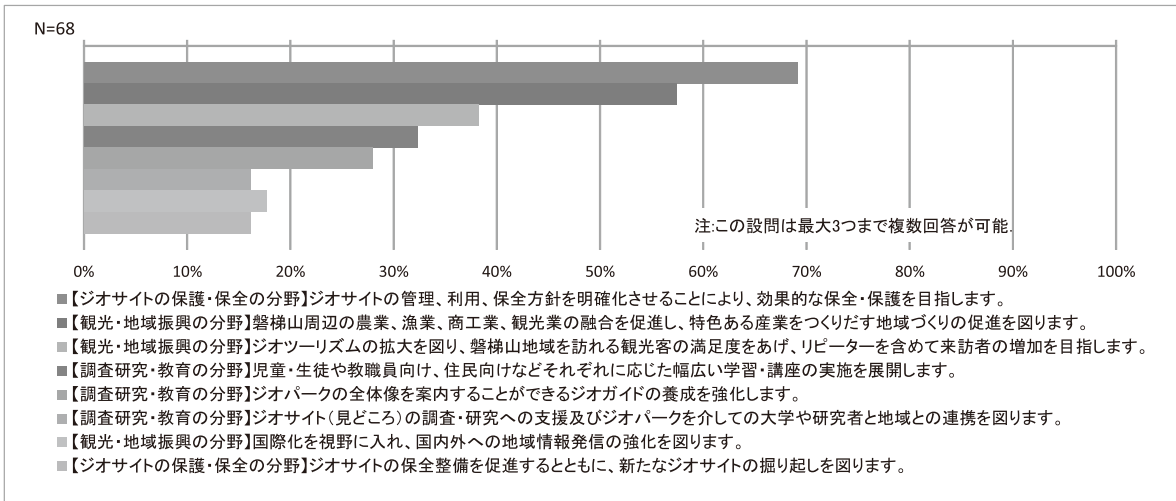


図 31 ジオパークの3つの基本方針のうちどれに興味関心を持ったか
(猪苗代町の行政區長)

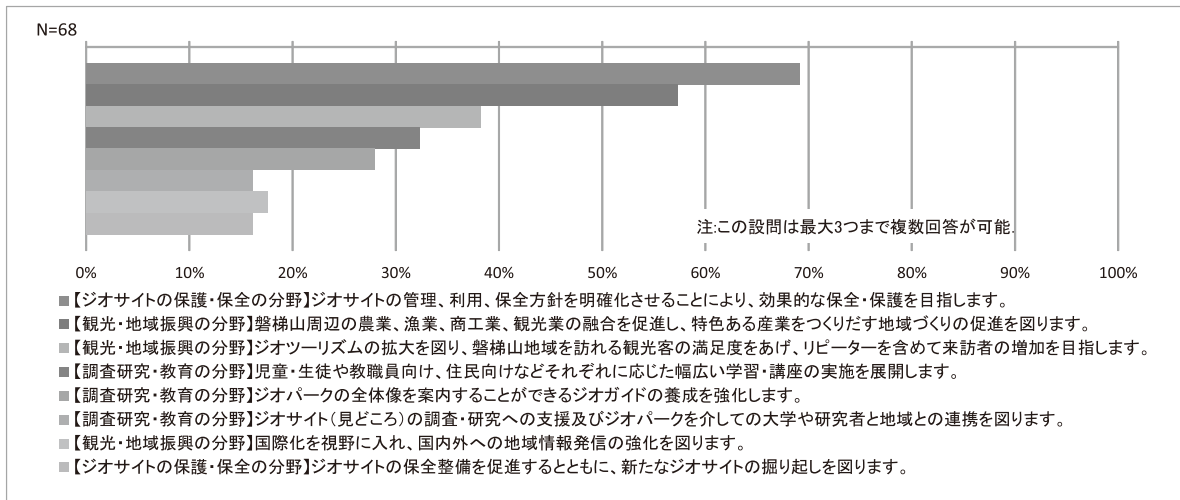


図 32 ジオパークの3つの基本方針のうちどれに興味関心を持ったか
(磐梯町の行政區長)

磐梯山ジオパークに関する住民意識と今後の課題

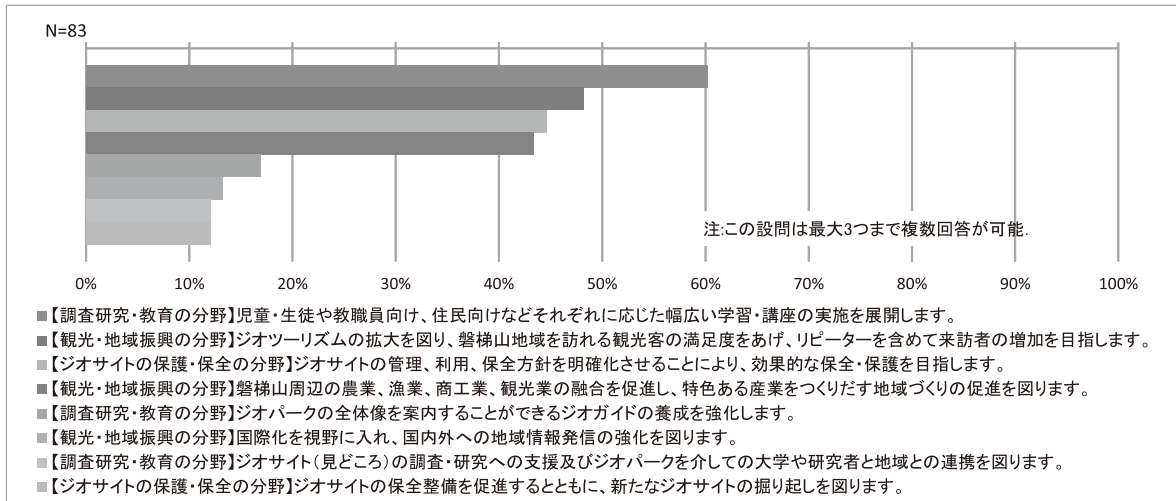


図 33 ジオパークの3つの基本方針のうちどれに興味関心を持ったか
(3 町村の小学校 6 年生の保護者)

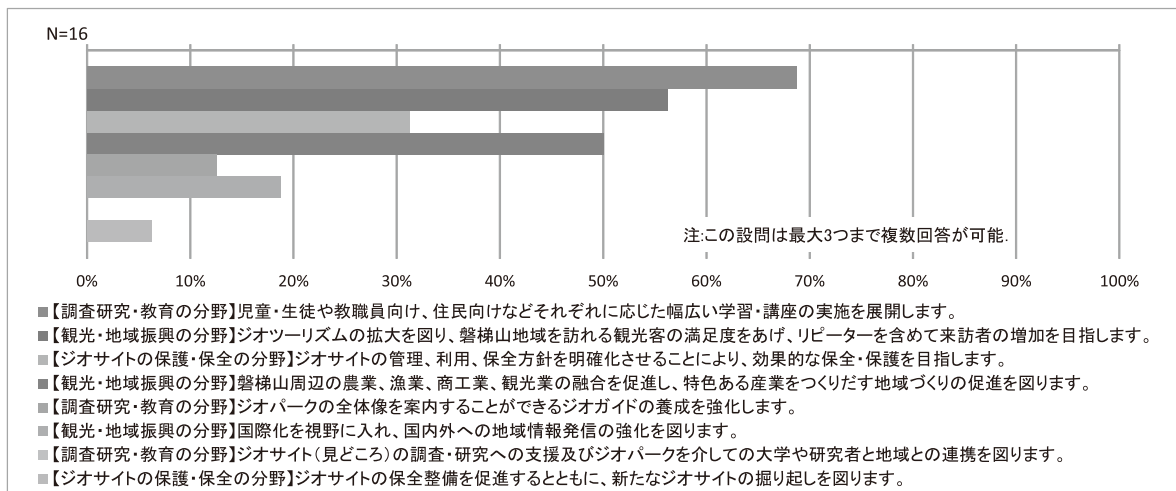


図 34 ジオパークの3つの基本方針のうちどれに興味関心を持ったか
(北塩原村の小学校 6 年生の保護者)

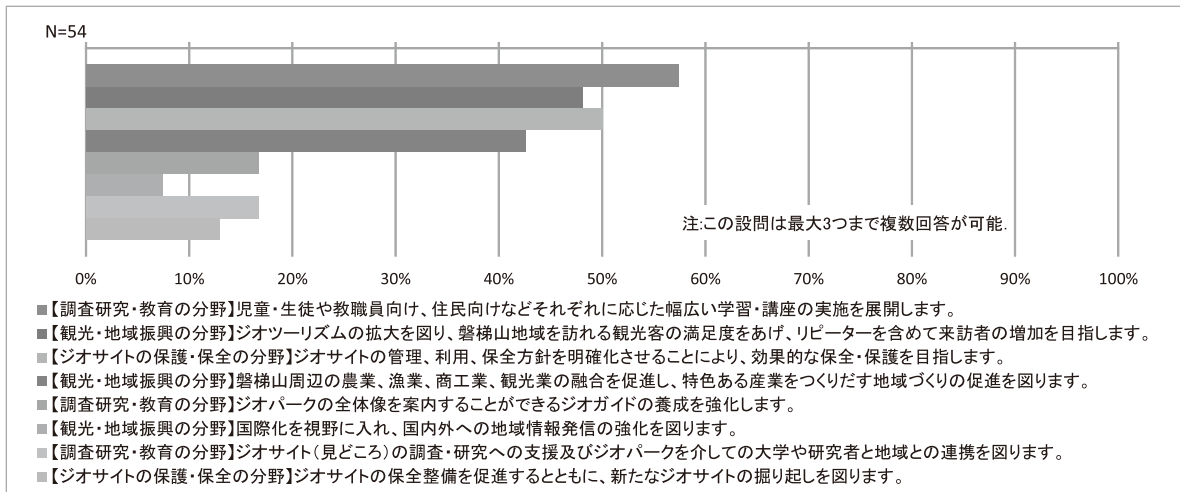


図 35 ジオパークの3つの基本方針のうちどれに興味関心を持ったか
(猪苗代町の小学校6年生の保護者)

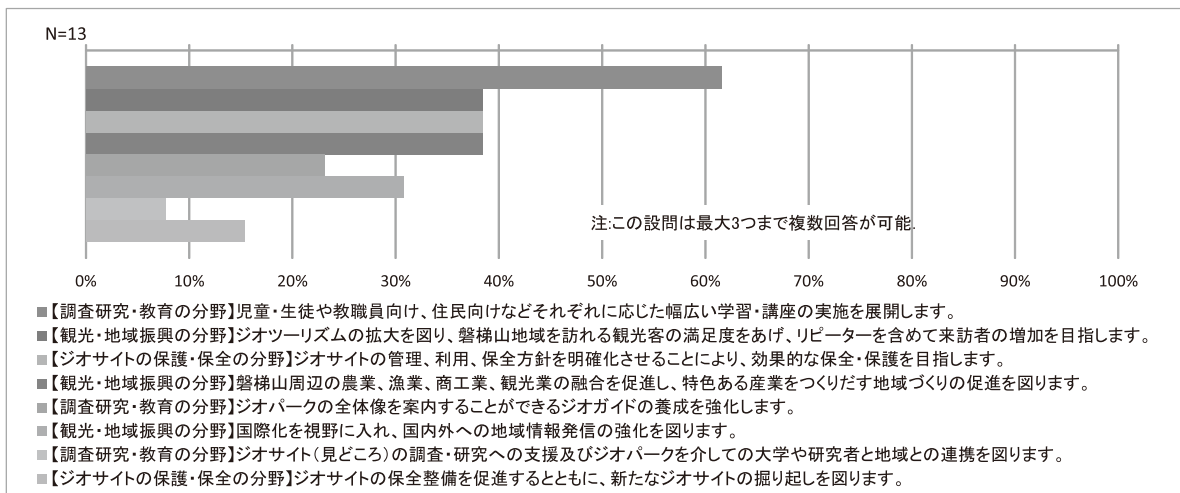


図 36 ジオパークの3つの基本方針のうちどれに興味関心を持ったか
(磐梯町の小学校6年生の保護者)

(7) 小・中学校等でのジオパークに関する学習について聞いたことがあるか

【行政区長】

家族・知人等から小・中学校等でのジオパークに関する学習について聞いたことがあるかについて、3町村の全体では、「ある」が17%、「ない」が79%、無回答が3%である(図37)。3町村ごとに見ると、北塩原村では「ない」の割合が高い。

【小学校6年生の保護者】

子どもから小・中学校等でのジオパークに関する学習について聞いたことがあるかについて、3町村の全体では、「ある」が30%、「ない」が70%である(図38)。3町村ごとに見ても、大きな違いは見られない。

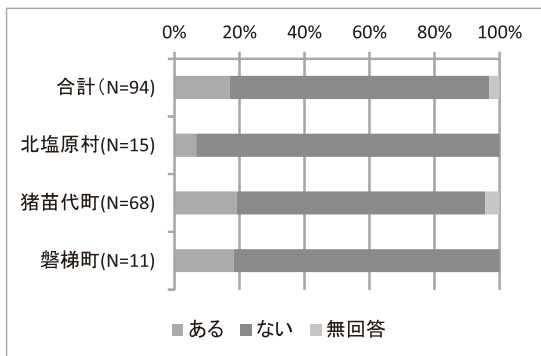


図37 小・中学校等でのジオパークに関する学習について聞いたことがあるか(行政区長)

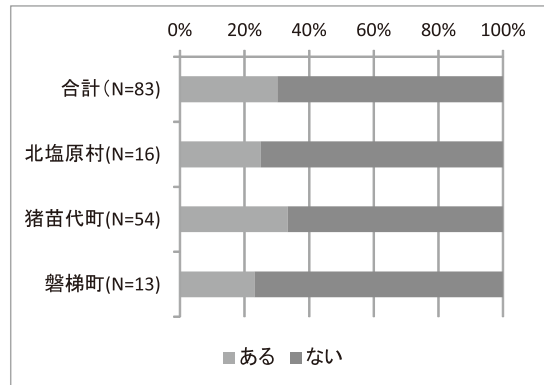


図38 小・中学校等のジオパークに関する学習について聞いたことがあるか(小学校6年生の保護者)

(8) 学校出前授業やイベントで「磐梯山ジオラマ」を子どもが作ったことがあるか

【小学校6年生の保護者】

学校出前授業やイベントで「磐梯山ジオラマ」を子どもが作ったことがあるかについて、3町村の全体では、「ある」が43%、「ない」が53%、無回答が4%である(図39)。3町村ごとに見ると、北塩原村では「ある」の割合が高く、磐梯町では低い。

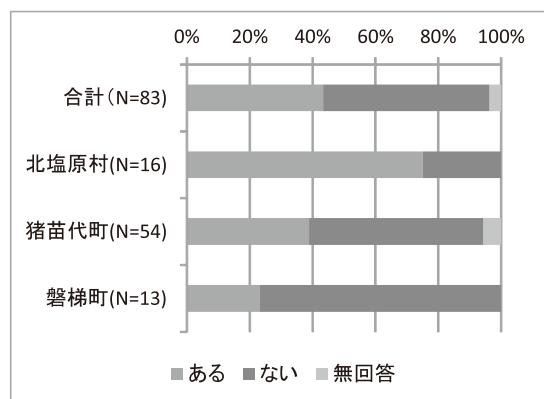


図39 学校出前授業やイベントで「磐梯山ジオラマ」を子どもが作ったことがあるか

(9) ジオパークを楽しむ体験学習や見どころを巡るツアーに参加したいか

【行政区長】

ジオパークを楽しむ体験学習や見どころを巡るツアーに参加したいかについて、3町村の全体では、「はい」が69%、「いいえ」が27%、無回答が4%である（図40）。3町村ごとに見ても、大きな違いは見られない。

【小学校6年生の保護者】

ジオパークを楽しむ体験学習や見どころを巡るツアーに参加したいかについて、3町村の全体では、「はい」が70%、「いいえ」が29%、無回答が1%である（図41）。3町村ごとに見ても、大きな違いは見られない。

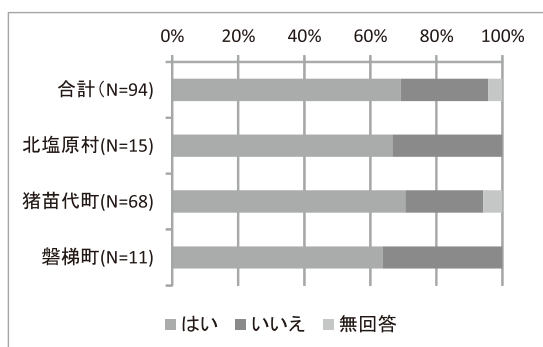


図40 ジオパークを楽しむ体験学習や見どころを巡るツアーに参加したいか（行政区長）

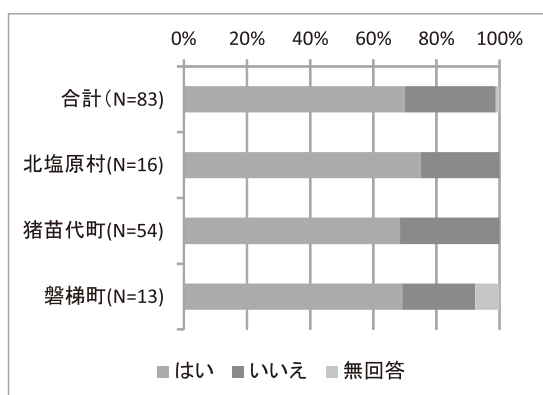


図41 ジオパークを楽しむ体験学習や見どころを巡るツアーに参加したいか（小学校6年生の保護者）

(10) 近年、磐梯山の標高を測定した結果、1819mではなく1816mに変わったことを知っているか

【行政区長】

近年、磐梯山の標高を測定した結果、1819mではなく1816mに変わったことを知っているかについて、3町村の全体では、「知っている」が71%、「知らない」が27%、無回答が2%である（図42）。3町村ごとに見ると、北塩原村では「知らない」の割合が高い。

【小学校6年生の保護者】

近年、磐梯山の標高を測定した結果、1819mではなく1816mに変わったことを知っているかについて、3町村の全体では、「知っている」が54%、「知らない」が39%、無回答が7%である（図43）。3町村ごとに見ると、北塩原村では「知っている」の割合がやや高い。

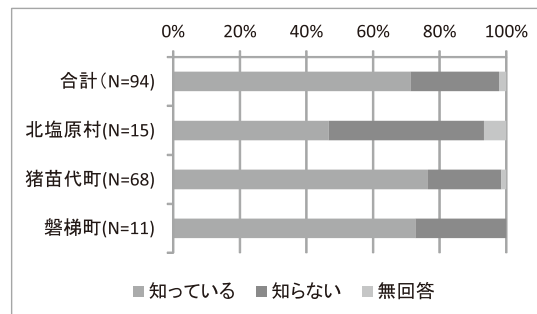


図42 近年、磐梯山の標高を測定した結果、1819mではなく1816mに変わったことを知っているか（行政区長）

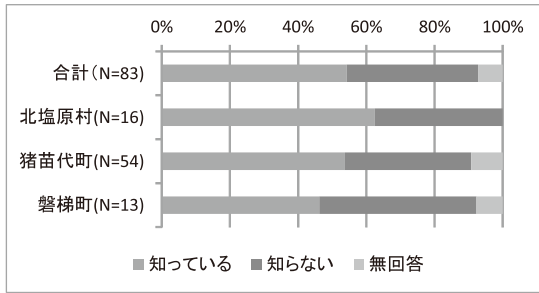


図 43 近年、磐梯山の標高を測定した結果、1819m ではなく 1816m に変わったことを知っているか（小学校 6 年生の保護者）

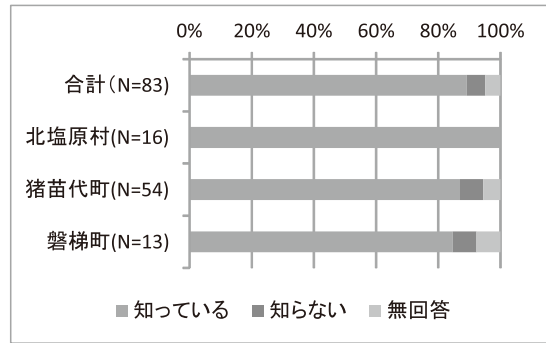


図 45 磐梯山が活火山であることを知っているか（小学校 6 年生の保護者）

(11) 磐梯山が活火山であることを知っているか

【行政区長】

磐梯山が活火山であることを知っているかについて、3 町村の全体では、「知っている」が 98%、「知らない」が 1%、無回答が 1%である（図 44）。3 町村ごとに見ても、大きな違いは見られない。

【小学校 6 年生の保護者】

磐梯山が活火山であることを知っているかについて、3 町村の全体では、「知っている」が 89%、「知らない」が 6%、無回答が 5%である（図 45）。3 町村ごとに見ても、大きな違いは見られない。

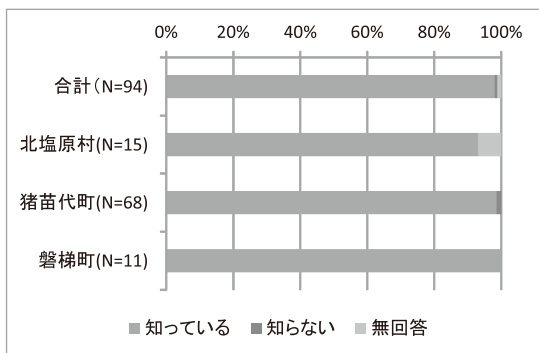


図 44 磐梯山が活火山であることを知っているか（行政区長）

(12) 磐梯山が 1888 年（明治 21）に噴火したことを知っているか

【行政区長】

磐梯山が 1888 年（明治 21）に噴火したことを知っているかについて、3 町村の全体では、「知っている」が 97%、「知らない」が 2%、無回答が 1%である（図 46）。3 町村ごとに見ても、大きな違いは見られない。

【小学校 6 年生の保護者】

磐梯山が 1888 年（明治 21）に噴火したことを知っているかについて、3 町村の全体では、「知っている」が 88%、「知らない」が 8%、無回答が 4%である（図 47）。3 町村ごとに見ると、磐梯町では「知っている」の割合がやや低い。

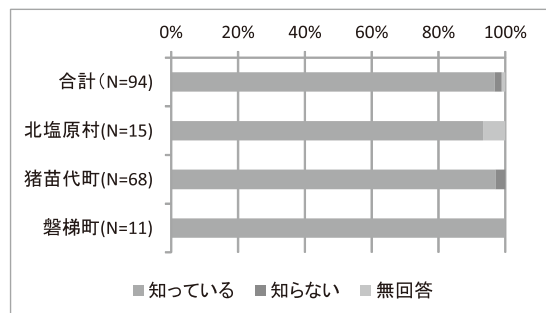


図 46 磐梯山が 1888 年（明治 21）に噴火したことを知っているか（行政区長）

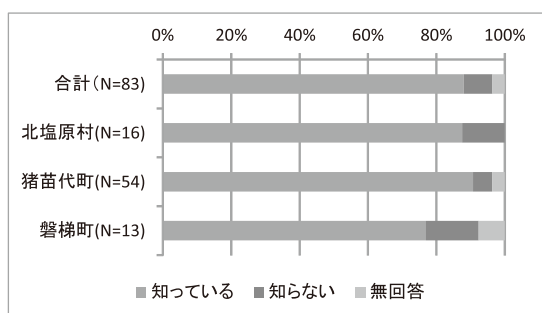


図 47 磐梯山が 1888 年（明治 21）に噴火したことを知っているか（小学校 6 年生の保護者）

(13) 北塩原村，猪苗代町，磐梯町に，自然や歴史，街中を案内する「ガイド」や団体がいることを知っているか

【行政区長】

北塩原村，猪苗代町，磐梯町に，自然や歴史，街中を案内する「ガイド」や団体がいることを知っているかについて，3 町村の全体では「知っている」が 67%，「知らない」が 32%，無回答が 1% である（図 48）．3 町村ごとに見ても，大きな違いは見られない．

【小学校 6 年生の保護者】

北塩原村，猪苗代町，磐梯町に，自然や歴史，街中を案内する「ガイド」や団体がいることを知っているかについて，3 町村の全体では，「知っている」が 52%，「知らない」が 43%，無回答が 5% である（図 49）．3 町村ごとに見ると，北塩原村では「知らない」の割合が高い．

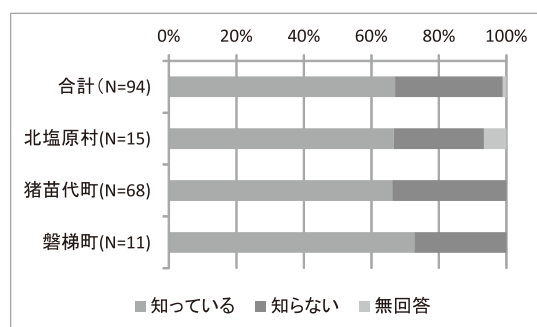


図 48 北塩原村，猪苗代町，磐梯町に，自然や歴史，街中を案内する「ガイド」や団体がいることを知っているか（行政区長）

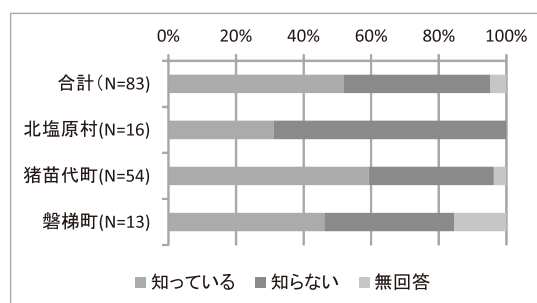


図 49 北塩原村，猪苗代町，磐梯町に，自然や歴史，街中を案内する「ガイド」や団体がいることを知っているか（小学校 6 年生の保護者）

(14) 磐梯山は宝の山と思うか

【行政区長】

磐梯山は宝の山と思うかについて，3 町村の全体では，「はい」が 78%，「いいえ」が 21%，無回答が 1% である（図 50）．3 町村ごとに見ても，大きな違いは見られない．

【小学校 6 年生の保護者】

磐梯山は宝の山と思うかについて，3 町村の全体では，「はい」が 81%，「いいえ」が 12%，無回答が 7% である（図 51）．3 町村ごとに見ても，大きな違いは見られない．

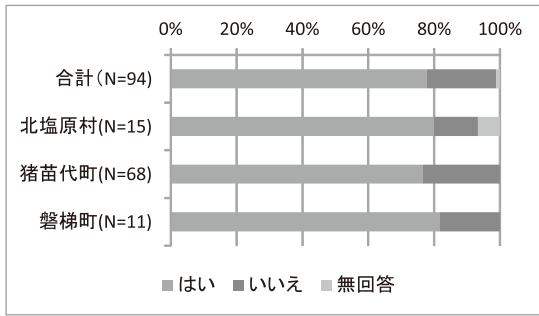


図 50 磐梯山は宝の山と思うか（行政区長）

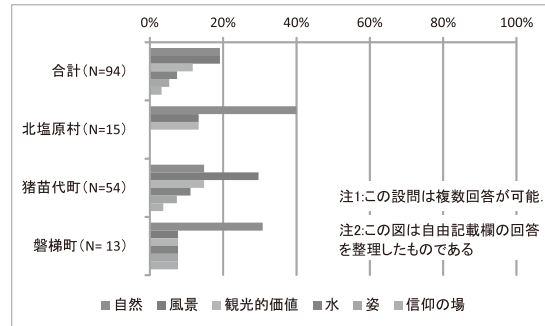


図 52 あなたが思う磐梯山のお宝とはどのようなものか（行政区長）

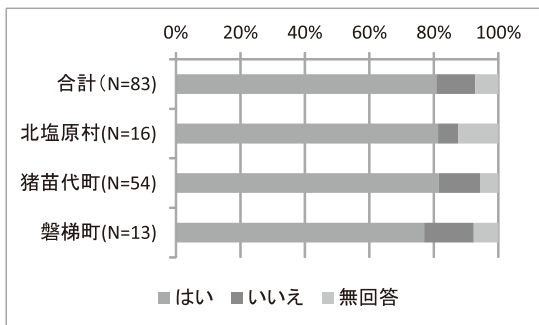


図 51 磐梯山は宝の山と思うか（小学校 6 年生の保護者）

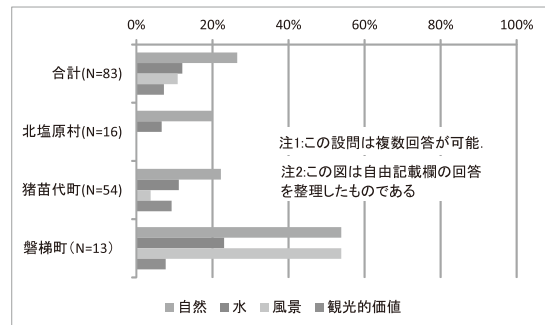


図 53 あなたが思う磐梯山のお宝とはどのようなものか（小学校 6 年生の保護者）

(15) あなたが思う磐梯山のお宝とはどのようなものか

【行政区長】

あなたが思う磐梯山のお宝とはどのようなものかについて（この設問は複数回答が可能）、3 町村の全体では、「自然」と「風景」の割合が 19% で最も高く、次いで「観光的価値」が 12% である（図 52）。3 町村ごとに見ると、北塩原村と磐梯町では「自然」の割合が高く、猪苗代町では「風景」の割合が高い。

【小学校 6 年生の保護者】

あなたが思う磐梯山のお宝とはどのようなものかについて（この設問は複数回答が可能）、3 町村の全体では、「自然」の割合が 27% で最も高く、次いで「水」が 12%、次いで「風景」が 11% である（図 53）。3 町村ごとに見ると、磐梯町では「自然」と「風景」の割合が高い。

(16) 身近に感じる災害にはどのようなものがあるか

【行政区長】

身近に感じる災害にはどのようなものがあるかについて、3 町村の全体では、一番目に身近に感じる災害としては「地震」が 52% と最も高く、次いで「噴火」が 13%、「暴風」が 11% である（図 54）。二番目に身近に感じる災害としては「豪雨」の割合が 24% で最も高く、三番目に身近に感じる災害としては「豪雨」の割合が 27% で最も高い。

【小学校 6 年生の保護者】

身近に感じる災害にはどのようなものがあるかについて、3 町村の全体では、一番目に身近に感じる災害としては「地震」の割合が 69% と最も高く、次いで「噴火」が 10%、「暴風」が 8% である（図 55）。二番目に身近に感じる災害とし

では「豪雨」と「噴火」の割合が23%で最も高く、三番目に身近に感じる災害としては「噴火」の割合が25%で最も高い。

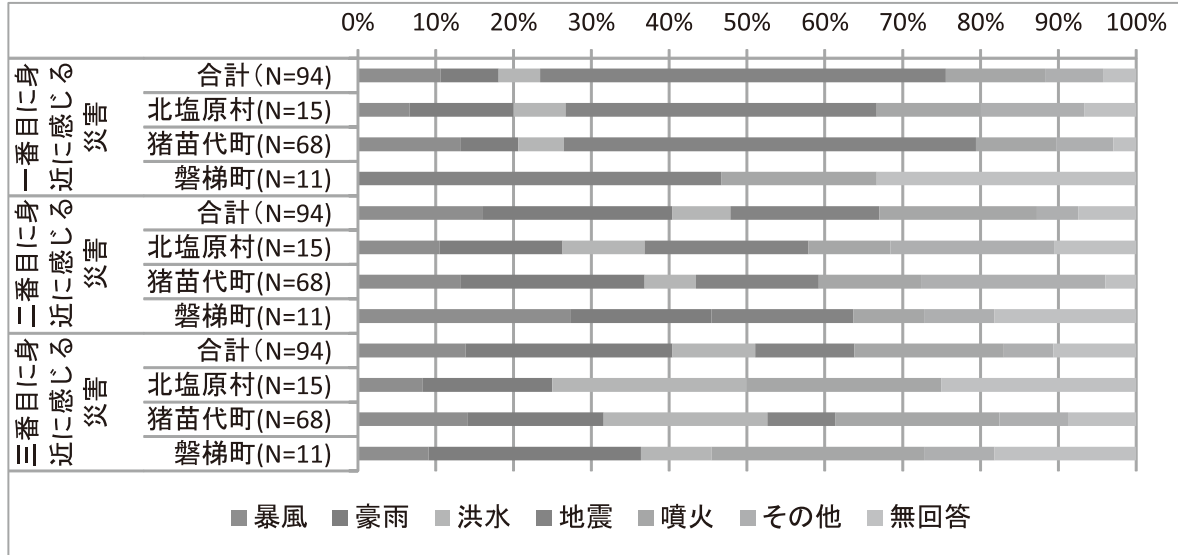


図 54 身近に感じる災害にはどのようなものがあるか（行政区長）

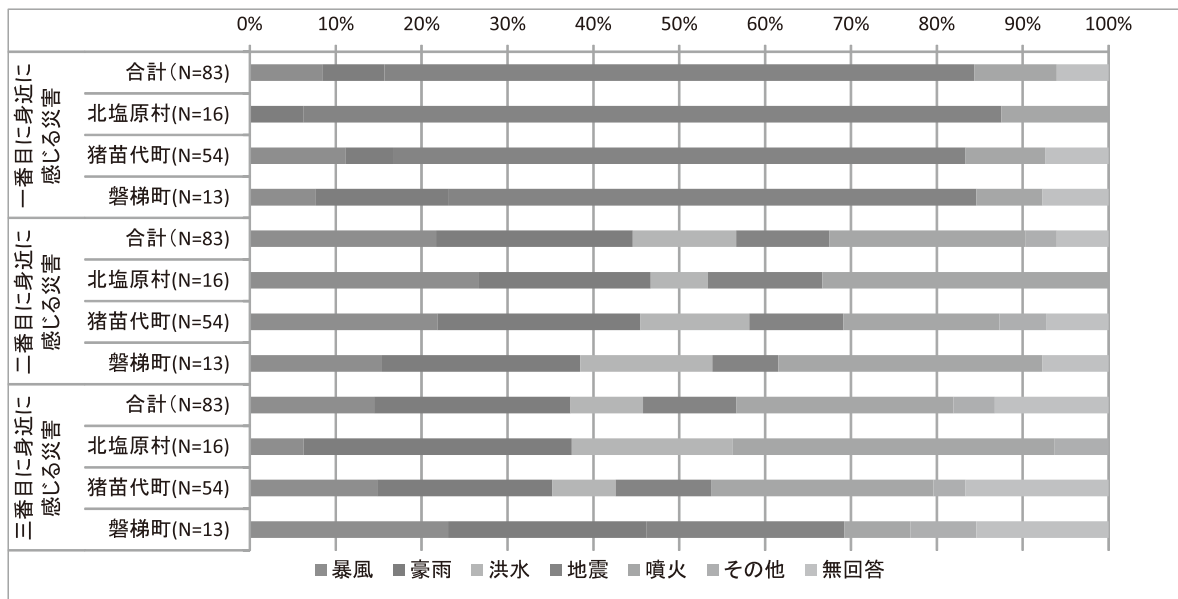


図 55 身近に感じる災害にはどのようなものがあるか（小学校6年生の保護者）

(17) 防災に関する講座があれば参加したいか

【行政区長】

防災に関する講座があれば参加したいかについて、3町村の全体では、「はい」が74%、「いいえ」が19%、無回答が5%である(図56)。3町村ごとに見ると、磐梯町では「はい」の割合が少し低い。

【小学校6年生の保護者】

防災に関する講座があれば参加したいかについて、3町村の全体では、「はい」が58%、「いいえ」が37%、無回答が5%である(図57)。3町村ごとに見ると、北塩原村が「はい」の割合が少し高い。

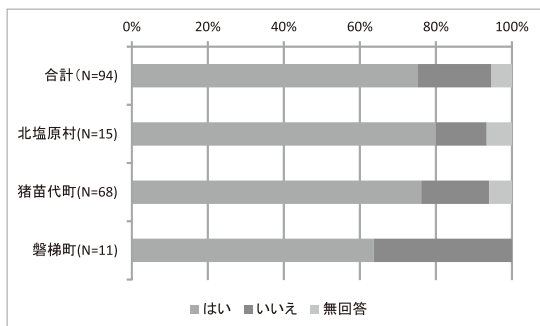


図56 防災に関する講座があれば参加したいか(行政区長)

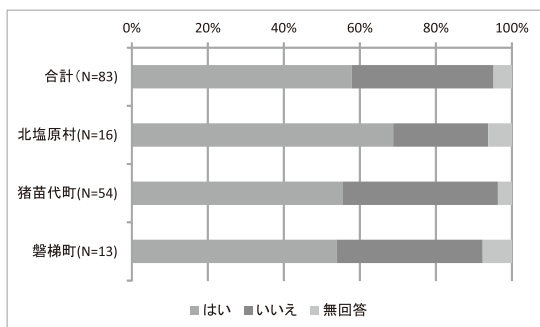


図57 防災に関する講座があれば参加したいか(小学校6年生の保護者)

(18) 行ったことがある、または、知っているジオサイト

【行政区長】

行ったことがある、または、行ったことはないが知っているジオサイトについて(この設問は複数回答が可能)、3町村の全体では、「天鏡閣」が「行ったことがある」と「知っている」の合計が83%で最も高く、次いで「秋元発電所」が82%、「土津神社」が81%で高い(図58)。3町村ごとに見ると、北塩原村では町村内にある「大山祇神社(桧原湖北岸)」、「穴沢一族五輪の塔」などが「行ったことがある」「知っている」の割合が高く、同様に猪苗代町では「見祢の大石」「小平湯天満宮」などが「行ったことがある」「知っている」の割合が高く、磐梯町では「龍ヶ沢湧水」、「翁島岩なだれ堆積物(磐梯町駅付近)」などが「行ったことがある」と「知っている」の割合が高い(図59, 図60, 図61)。

【小学校6年生の保護者】

行ったことがある、または、行ったことはないが知っているジオサイトについて(この設問は複数回答が可能)、3町村の全体では、「天鏡台」が「行ったことがある」と「知っている」の合計が84%で最も高く、次いで「雄国沼」78%、「秋元発電所」が76%で高い(図62)。3町村ごとに見ると、北塩原村では町村内にある「大山祇神社(桧原湖北岸)」などが「行ったことがある」「知っている」の割合が高く、同様に猪苗代町では「見祢の大石」「土津神社」などが「行ったことがある」「知っている」の割合が高く、磐梯町では「龍ヶ沢湧水」、「史跡慧日寺跡」などが「行ったことがある」と「知っている」の割合が高い(図63, 図64, 図65)。

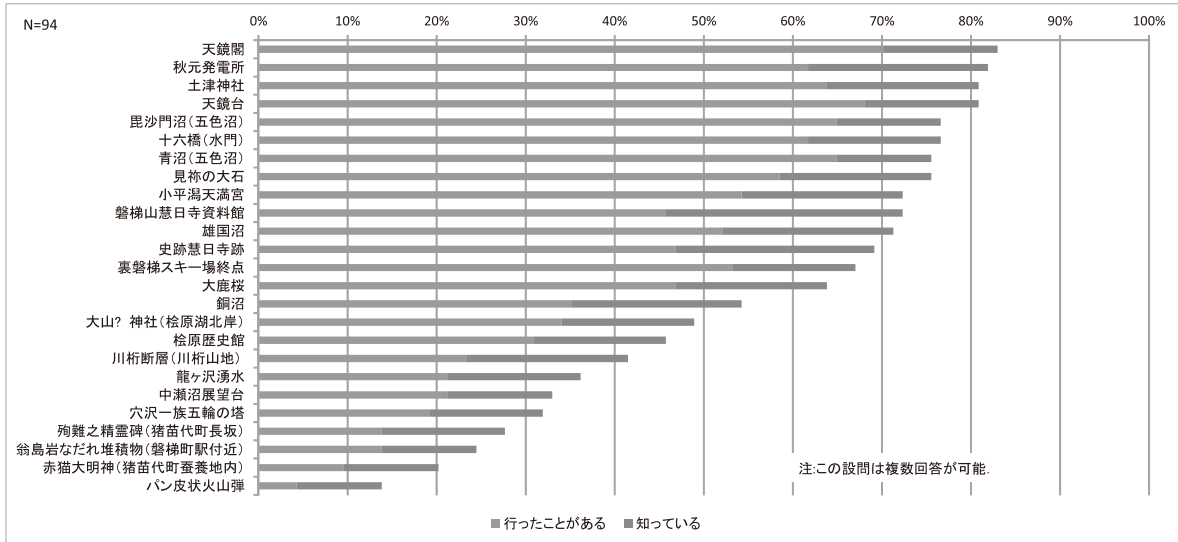


図 58 行ったことがある, または, 知っているジオサイト (3 町村の行政区長)

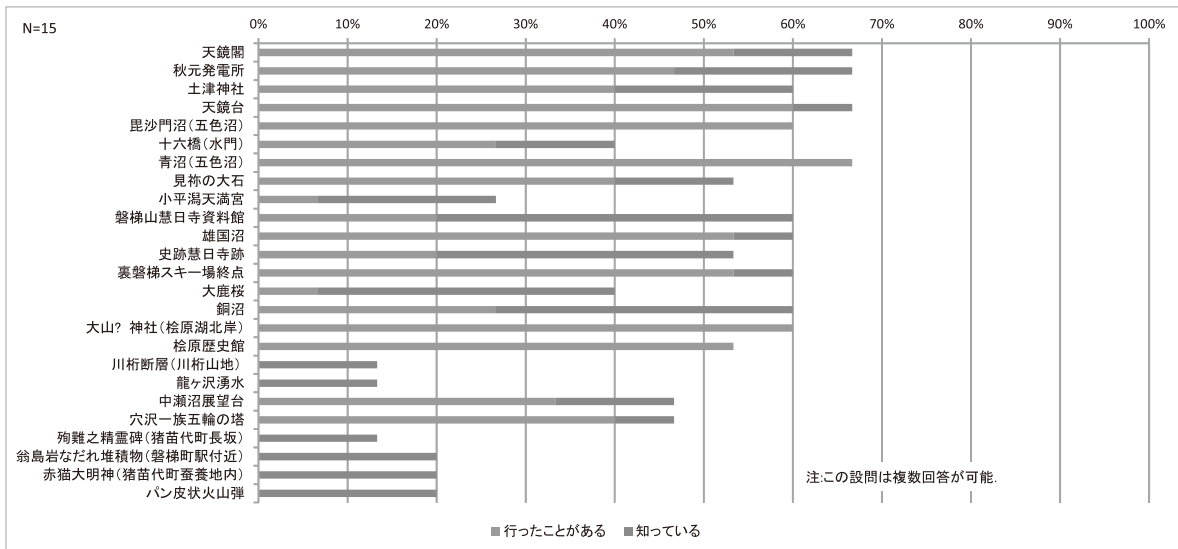


図 59 行ったことがある, または, 知っているジオサイト (北塩原村の行政区長)

磐梯山ジオパークに関する住民意識と今後の課題

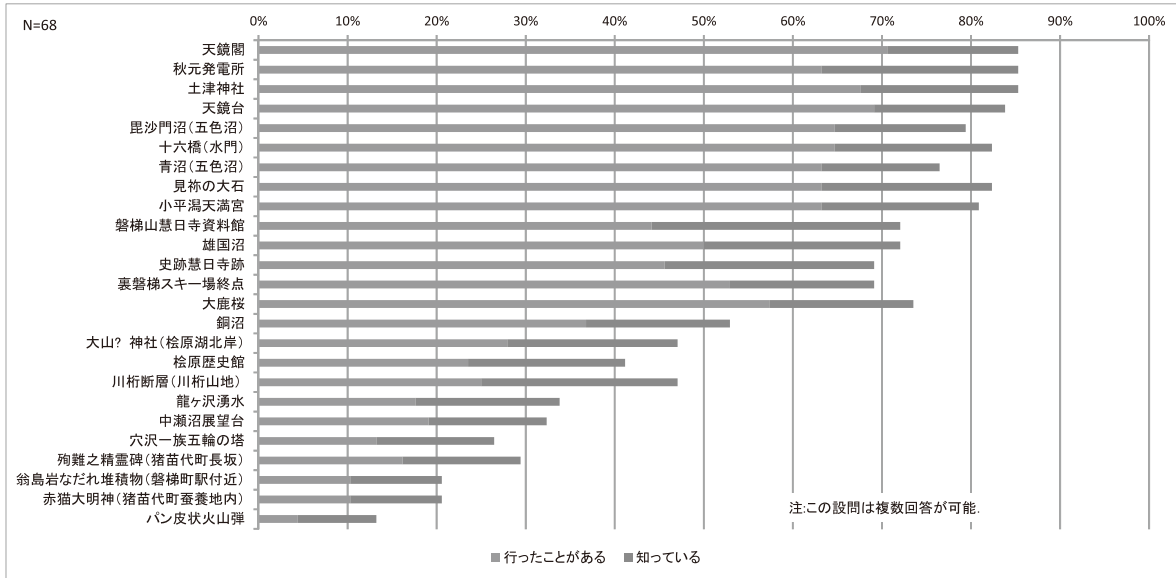


図 60 行ったことがある, または, 知っているジオサイト (猪苗代町の行政区長)

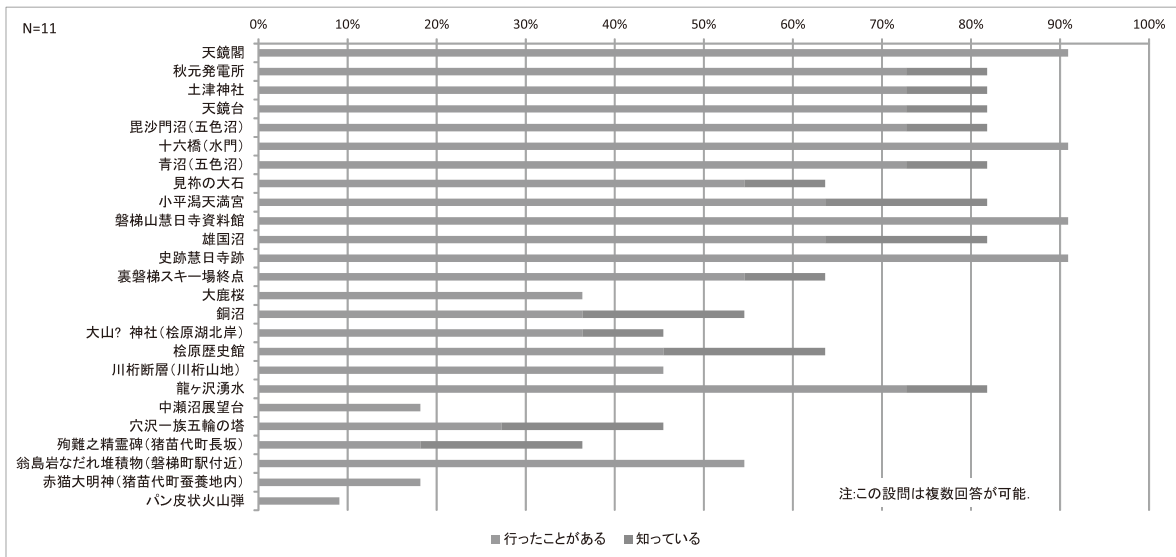


図 61 行ったことがある, または, 知っているジオサイト (磐梯町の行政区長)

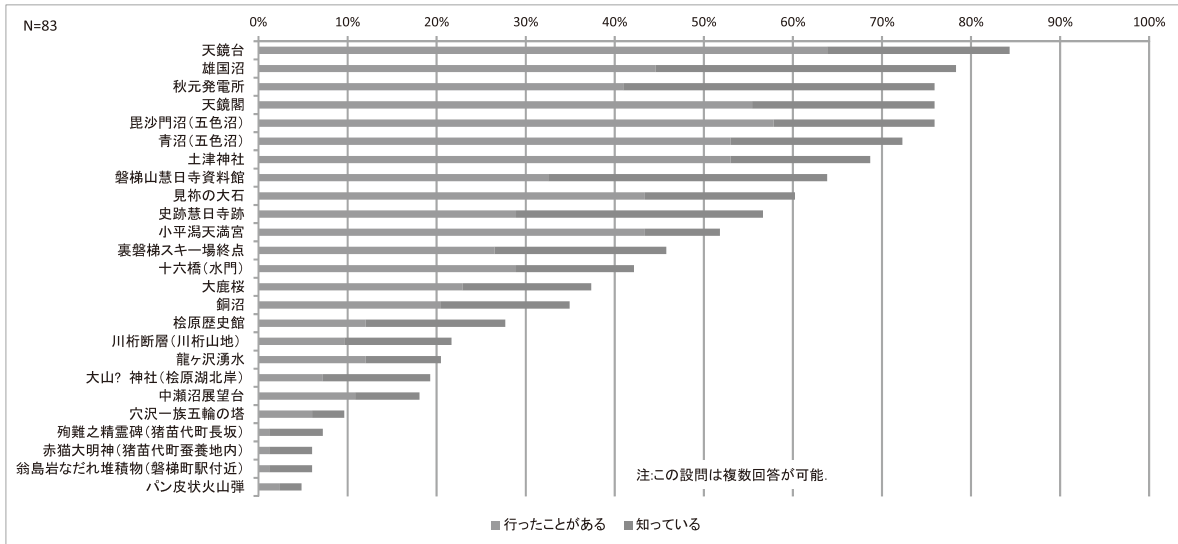


図 62 行ったことがある, または, 知っているジオサイト (3 町村の小学校 6 年生の保護者)

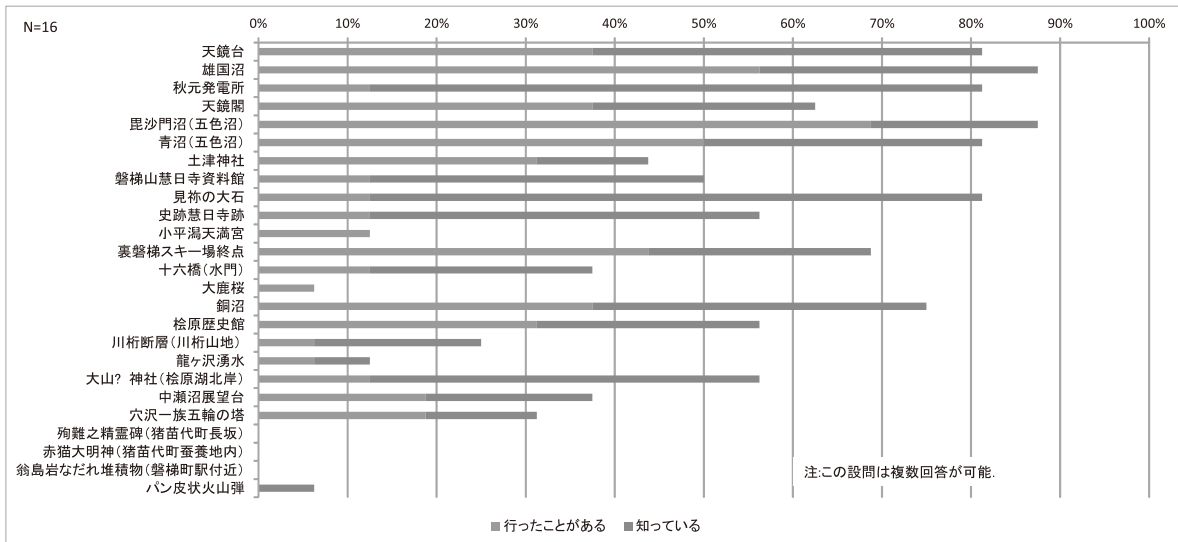


図 63 行ったことがある, または, 知っているジオサイト
(北塩原村の小学校 6 年生の保護者)

磐梯山ジオパークに関する住民意識と今後の課題

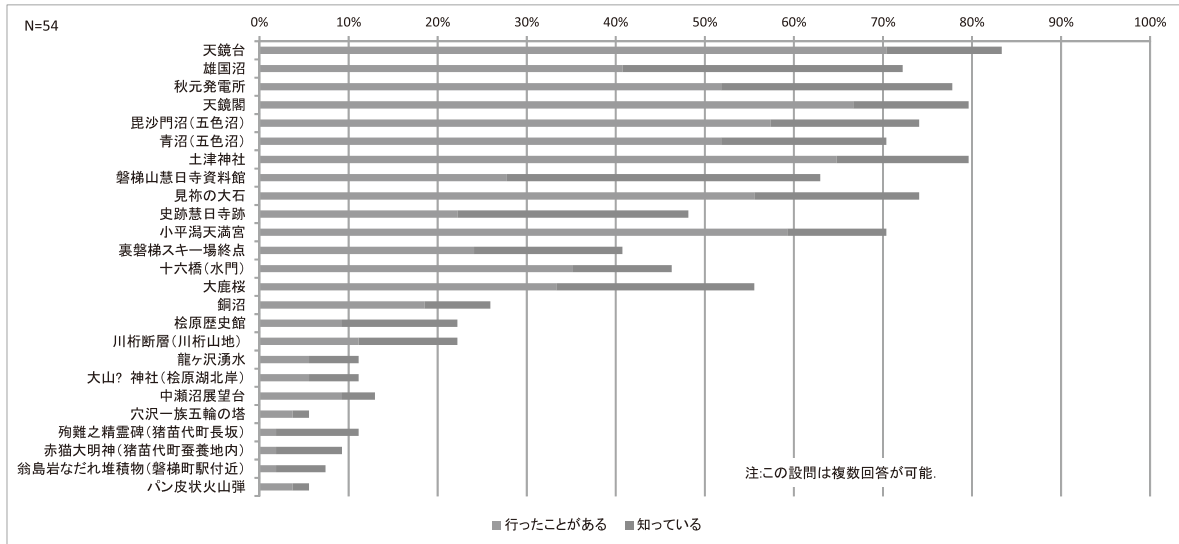


図 64 行ったことがある, または, 知っているジオサイト
(猪苗代町の小学校 6 年生の保護者)

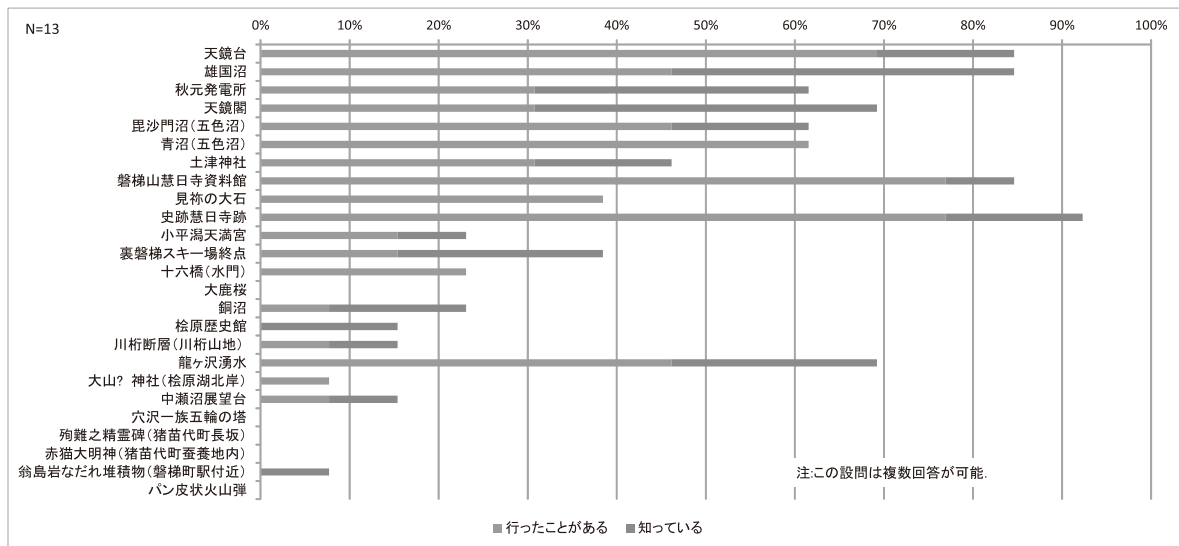


図 65 行ったことがある, または, 知っているジオサイト (磐梯町の小学校 6 年生の保護者)

(19) 磐梯山ジオパークへの意見・要望

【行政区長】

磐梯山ジオパークへの意見・要望について、主だったものは3町村の全体では、「広報活動の強化」が5%で高く、次いで「保全・整備体制の強化」が3%、次いで「ガイドの充実」、「教育の強化」が1%である(図66)。3町村ごとに見ると北塩原村では「保全・整備体制の強化」、猪苗代町では「広報活動の強化」の割合が高く、磐梯町では「広報活動の強化」、「保全・整備体制の強化」の割合が高い。

【小学校6年生の保護者】

磐梯山ジオパークへの意見・要望について、主だったものは3町村の全体では、「講座の充実」が11%で高く、次いで「ガイドの充実」が2%、次いで「教育の強化」が1%である(図67)。3町村ごとに見るとそれぞれ違いはあるが「講座の充実」の割合が最も高いことは変わらない。

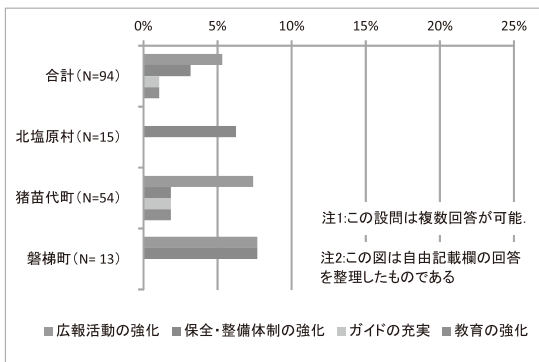


図66 磐梯山ジオパークへの意見・要望(行政区長)

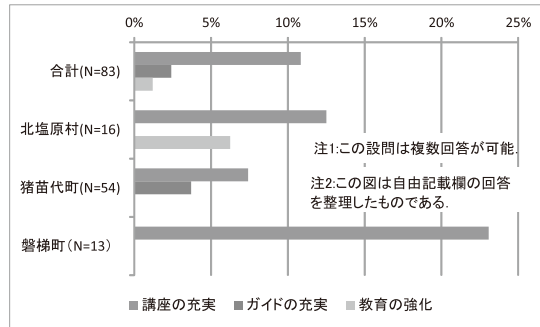


図67 磐梯山ジオパークへの意見・要望(小学校6年生の保護者)

IV. 磐梯山ジオパークに関する今後の課題

以上において、本研究で実施したアンケート調査の対象者は、北塩原村、猪苗代町、磐梯町の行政区長と小学校6年生の保護者に限られているものの、さまざまな観点から磐梯山ジオパークに関する住民意識を明らかにした。これを踏まえて、今後の磐梯山ジオパークに関する課題を提起するならば、それは、これまで以上に多様かつ広範な住民が参加しうる推進体制を構築した上で、将来像とその実現方策を共有化し、住民と協働で事業を推進していくことにあると考えられる。

即ち、磐梯山ジオパークは、町や村の広報紙などを通じて、多くの住民に認知されている。他方、多くの住民は、「ジオサイトの管理、利用、保全方針を明確化させることにより、効果的な保全・保護を目指す」こと、「磐梯山周辺の農業、漁業、商工業、観光業の融合を促進し、特色ある産業をつくりだす地域づくりの促進を図る」こと、「ジオツーリズムの拡大を図り、磐梯山地域を訪れる観光客の満足度をあげ、リピーターを含めて来訪者の増加を目指す」こと、「児童・生徒や教職員向け、住民向けなどそれぞれに応じた幅広い学習・講座の実施を展開」することに興味関心を持っている。これは、要するに、多くの住民にとって、磐梯山ジオパークに認定されていることは知っているものの、そのジオパークを通じて、どのような地域をめざそうとしているのか、あるいは、住民の暮らしやなりわいにどのようなメリット

をもたらさうるものなのかということが必ずしも明確ではないということを示しているのではないかと考えられる。

多くの住民は、磐梯山は宝の山だと考えており、ジオツアーや防災講座にも参加したいと考えているなど、磐梯山ジオパークに対する潜在的な関心は決して低くはないと思われる。日本ジオパークに認定されてから3年以上が経過し、再審査を間近に控えた今日、これまでのジオパーク活動の成果を踏まえながら、今後は、これまで以上に多様かつ広範な住民が参加しうる推進体制を構築した上で、将来像とその実現方策を共有化し、住民と協働で事業を推進していくことが必要だと考えられる。

補注

(1)日本ジオパーク委員会のホームページを参照 (<https://www.gsj.jp/jgc/index.html>)。